

平成29年度

# 全国学力・学習状況調査結果の分析

「授業の改善」「学力と学習状況との相関」等

平成29年11月

四日市市教育委員会



# 目 次

1	全国学力・学習状況調査結果の5年間の推移	p 1
2	教科別 正答数分布グラフ	p 3
3	校種・教科別 調査結果概要	p 7
4	各質問紙の調査結果からみえてくること	
	(1) 児童・生徒質問紙の4年間の経年変化及び学力の相関等	p 12
	①国語に関する項目	p12
	②算数・数学に関する項目	p15
	③授業全般に関わる項目	p19
	【コラム】 ここがすてき！四日市の子&ここが課題！四日市の子	p23
	④学習習慣に関わる項目	p26
	⑤読書習慣	p29
	⑥基本的な生活習慣	p30
	⑦規範意識	p33
	⑧自尊感情	p35
	⑨家庭・地域・社会との関わり	p37
	⑩学校生活等	p39
	(2) 学力向上に関する全市的な取り組み状況	p 42
	(3) 学校質問紙の4年間の経年変化と回答状況	p 45
	①指導方法等	p45
	②国語の指導方法	p47
	③算数・数学の指導方法	p49
	④コンピュータ等活用した教育	p49
	⑤規範意識	p50
	⑥地域人材の活用	p51
	⑦カリキュラムマネジメント	p52
5	今後の取り組みの重点	p53
6	参考資料	p55

# 1 全国学力・学習状況調査結果の5年間の推移 (H25～)

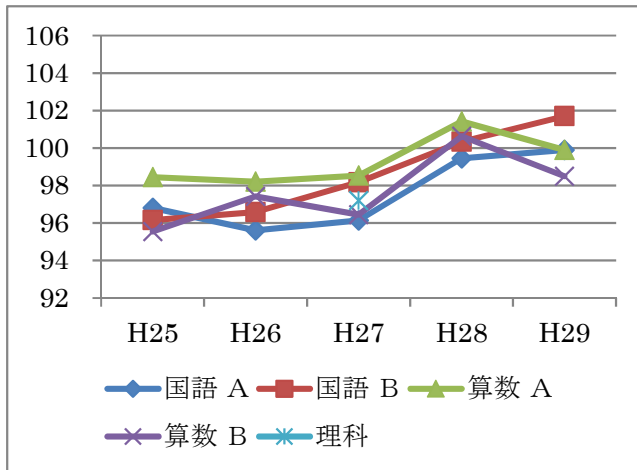
※ 平成29年度の文部科学省からの結果提供は、本市と三重県は整数値、全国は小数値となっています。

小学校		国語		算数		理科
		A (知識)	B (活用)	A (知識)	B (活用)	
平成25年度	本市	60.7	47.5	76.0	55.8	
	三重県	60.3	46.7	75.8	55.3	
	全国 (公立)	62.7	49.4	77.2	58.4	
平成26年度	本市	69.7	53.6	76.7	56.7	
	三重県	69.6	52.5	76.2	56.0	
	全国 (公立)	72.9	55.5	78.1	58.2	
平成27年度	本市	67.3	64.2	74.1	43.4	59.1
	三重県	68.0	65.3	74.8	44.1	59.2
	全国 (公立)	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8
平成28年度	本市	72.5	58.0	78.7	47.5	
	三重県	71.7	58.1	78.3	47.1	
	全国 (公立)	72.9	57.8	77.6	47.2	
平成29年度	本市	75	59	78	45	
	三重県	74	57	77	45	
	全国 (公立)	74.8	57.5	78.6	45.9	

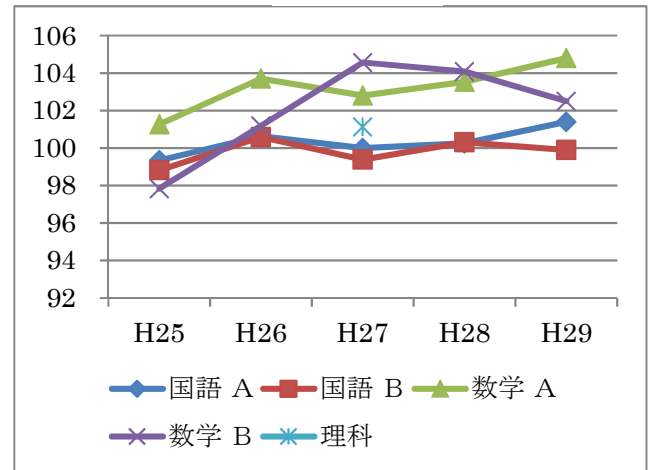
中学校		国語		数学		理科
		A (知識)	B (活用)	A (知識)	B (活用)	
平成25年度	本市	75.9	66.6	64.5	40.6	
	三重県	75.0	65.8	63.2	39.3	
	全国 (公立)	76.4	67.4	63.7	41.5	
平成26年度	本市	79.9	51.3	69.9	60.5	
	三重県	78.0	49.0	67.1	58.3	
	全国 (公立)	79.4	51.0	67.4	59.8	
平成27年度	本市	75.8	65.4	66.2	43.5	53.6
	三重県	75.0	64.3	64.3	40.6	51.9
	全国 (公立)	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
平成28年度	本市	75.8	66.7	64.4	45.9	
	三重県	74.4	64.3	62.2	43.2	
	全国 (公立)	75.6	66.5	62.2	44.1	
平成29年度	本市	78	72	68	49	
	三重県	77	71	65	47	
	全国 (公立)	77.4	72.2	64.6	48.1	

○ 各教科別調査結果から（全国を100としたときの本市結果の経年変化）

小学校

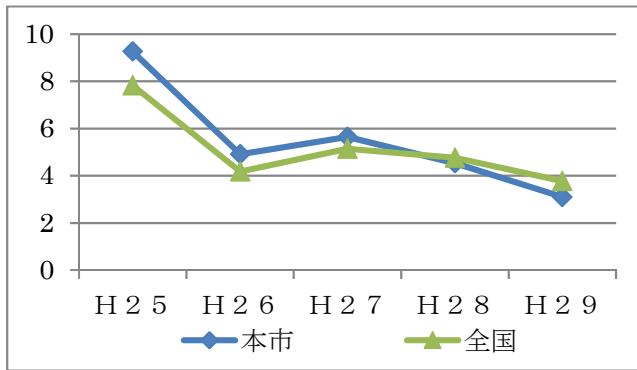


中学校

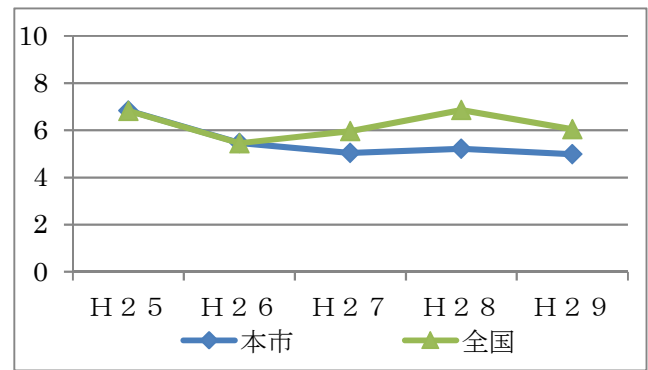


○ 無解答率の経年変化（各教科の無解答率の平均） ※理科は除く

小学校



中学校



<小学校>

本市と全国の平均正答率を比較すると、課題であった国語の結果が改善傾向にあります。特に、国語Bについては、平成28年度に続き、全国平均を上回りました。

算数ABは、全国平均を下回っていますが、ほぼ同等の結果でした。

無解答率については、平成28年度から全国よりも低くなっています。本市の子どもたちに、あきらめずに最後まで取り組む姿勢が育っていることがうかがえます。

<中学校>

数学ABは、全国平均を上回っています。特に、数学Aについては、全国平均を3%以上上回るなど、本市の強みとなっています。

国語においても、全国平均とほぼ同等の結果を維持しています。

中学校3年生の小学校6年生時（平成26年度調査）の結果では、国語A－3.2%、国語B－1.9%、算数A－1.4%、算数B－1.5%下回っていましたが、今回すべての教科で同等または上回っていることから、3年間で学力が向上していることが分かります。

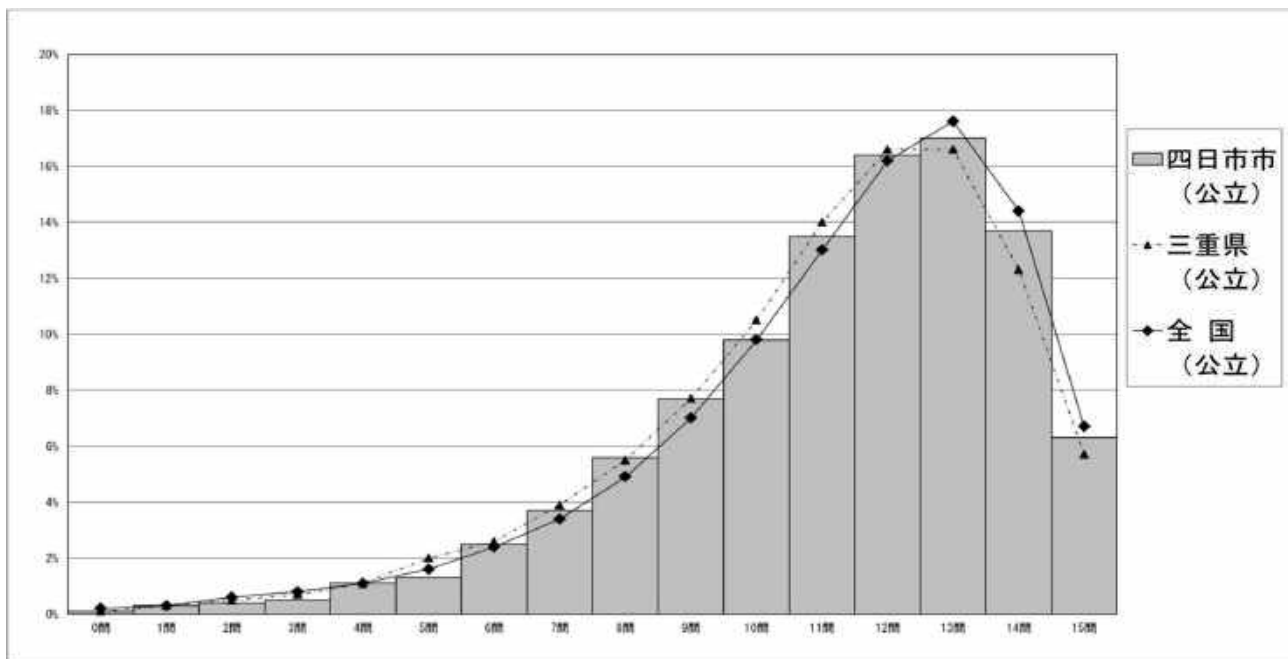
無解答率については、年々低くなってきており、平成29年度は全国と比べて約1.1ポイント低い結果となりました。

## 2 教科別 正答数分布グラフ (小学校)

### 国語A

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
四日市市教育委員会	2,520	11.2 / 15	75	12.0	2.7
三重県 (公立)	14,860	11.0 / 15	74	12.0	2.7
全国 (公立)	999,683	11.2 / 15	74.8	12.0	2.8

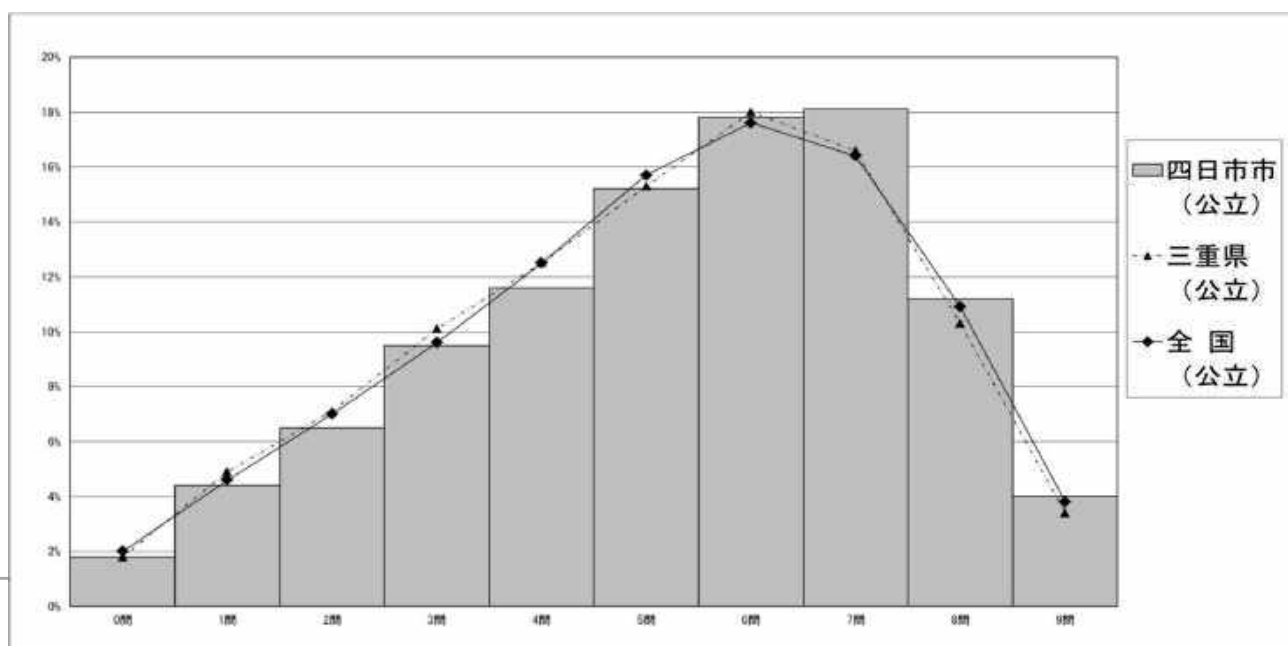
(横軸：正答数(問)、縦軸：割合(%))



### 国語B

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
四日市市教育委員会	2,520	5.3 / 9	59	6.0	2.2
三重県 (公立)	14,852	5.1 / 9	57	5.0	2.2
全国 (公立)	999,498	5.2 / 9	57.5	5.0	2.2

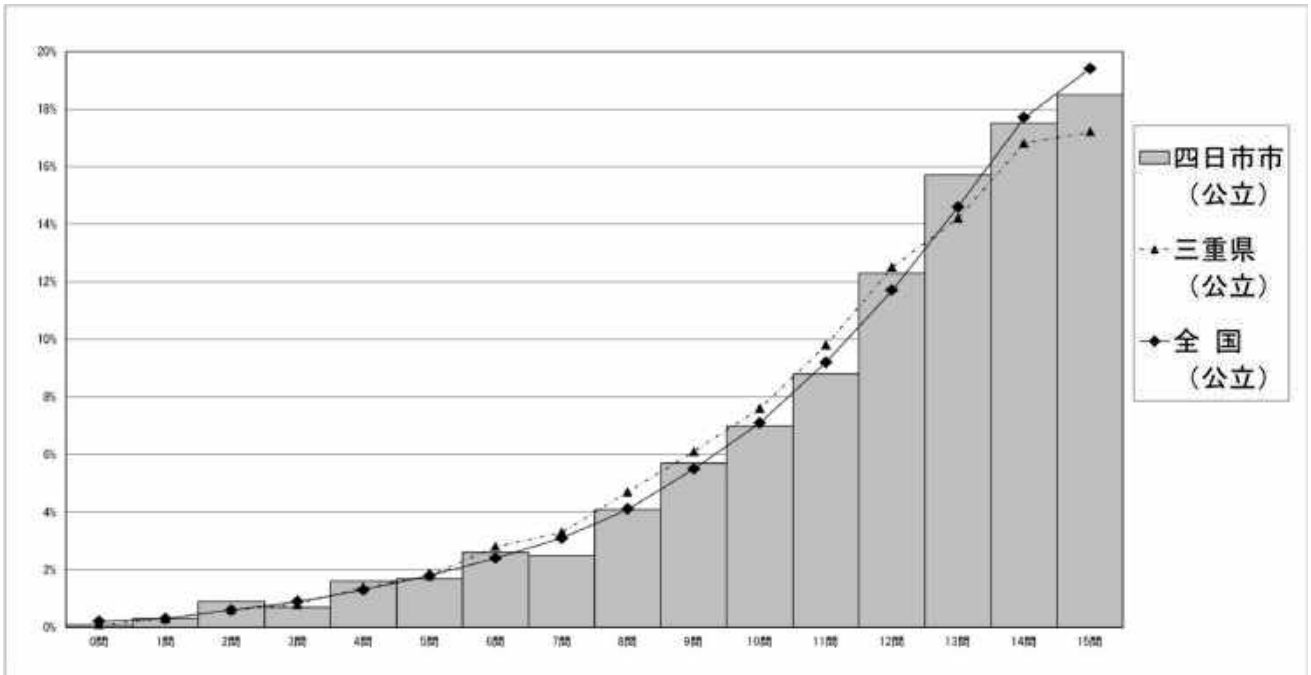
(横軸：正答数(問)、縦軸：割合(%))



## 算数A

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
四日市市教育委員会	2,520	11.8 / 15	78	13.0	3.1
三重県 (公立)	14,864	11.6 / 15	77	12.0	3.1
全国 (公立)	999,723	11.8 / 15	78.6	13.0	3.1

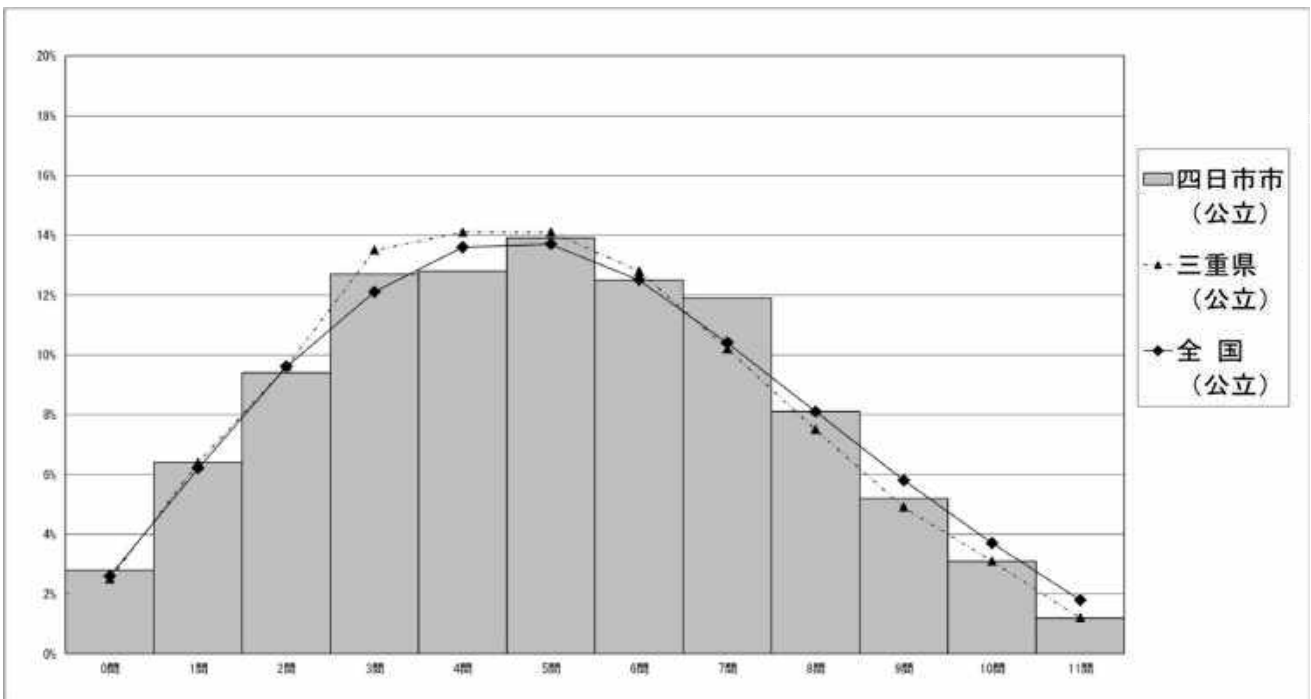
(横軸：正答数(問)、縦軸：割合(%))



## 算数B

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
四日市市教育委員会	2,521	5.0 / 11	45	5.0	2.6
三重県 (公立)	14,854	4.9 / 11	45	5.0	2.5
全国 (公立)	999,451	5.1 / 11	45.9	5.0	2.6

(横軸：正答数(問)、縦軸：割合(%))

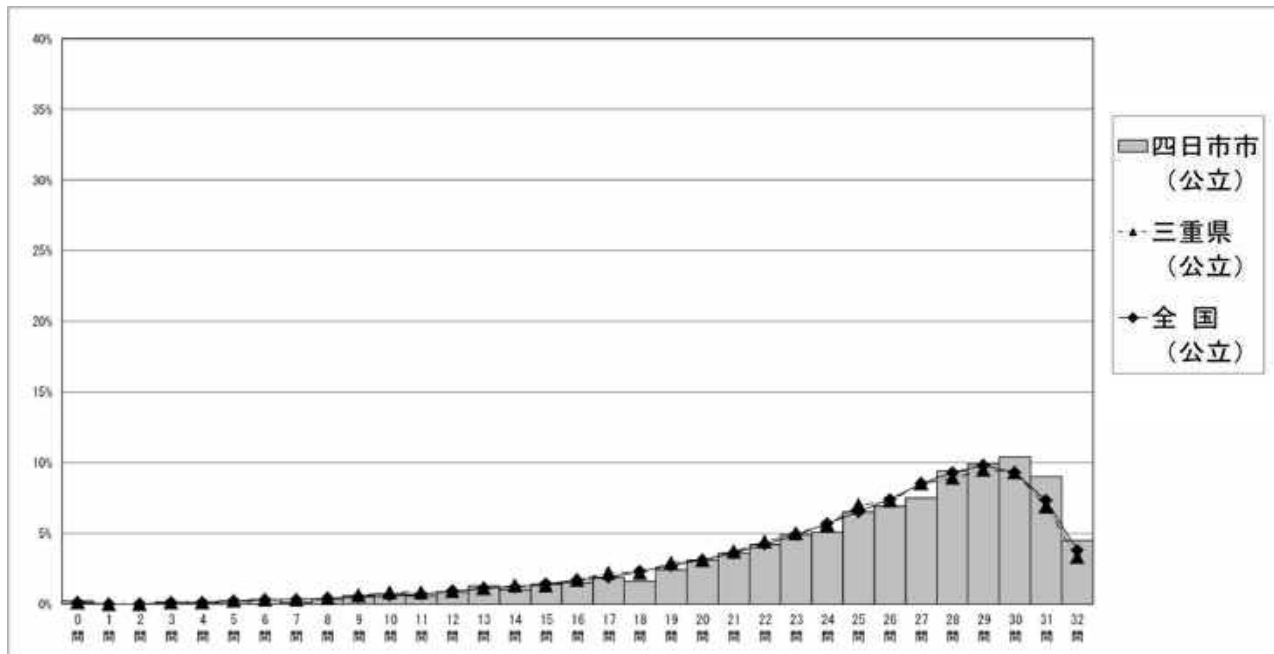


## 2 教科別 正答数分布グラフ (中学校)

### 国語A

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
四日市市教育委員会	2,740	25.1 / 32	78	27.0	5.7
三重県 (公立)	15,472	24.6 / 32	77	26.0	5.7
全国 (公立)	982,511	24.8 / 32	77.4	26.0	5.7

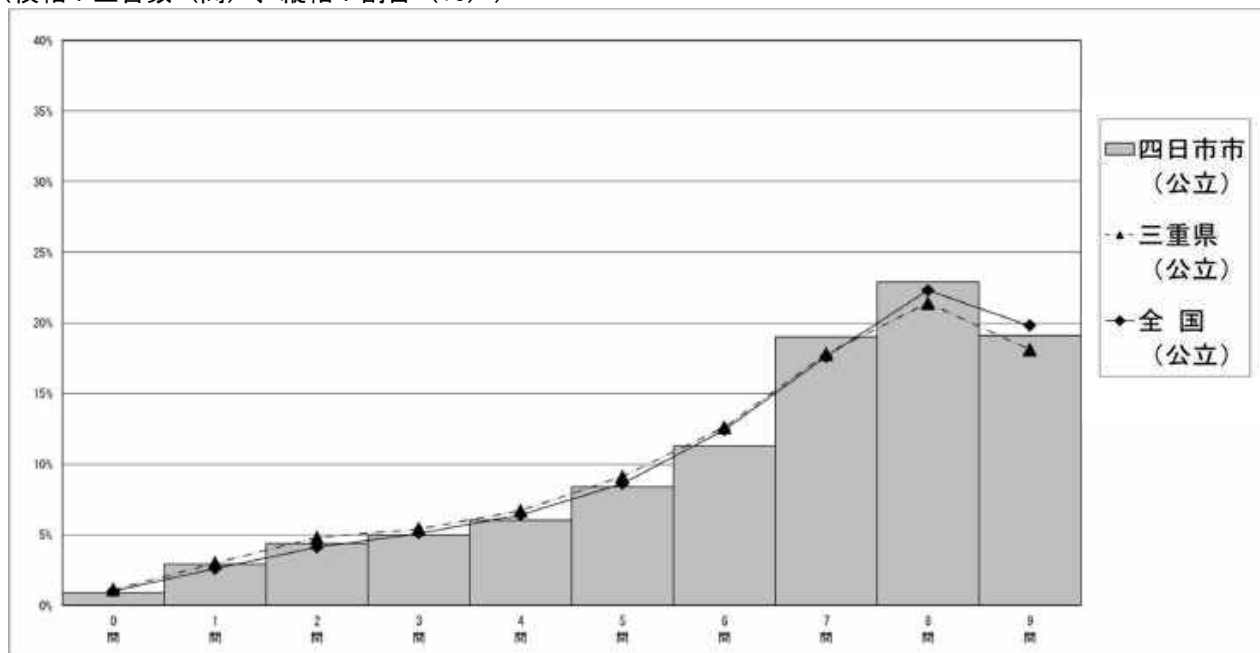
(横軸：正答数 (問)、縦軸：割合 (%))



### 国語B

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
四日市市教育委員会	2,739	6.5 / 9	72	7.0	2.3
三重県 (公立)	15,470	6.4 / 9	71	7.0	2.3
全国 (公立)	982,619	6.5 / 9	72.2	7.0	2.3

(横軸：正答数 (問)、縦軸：割合 (%))

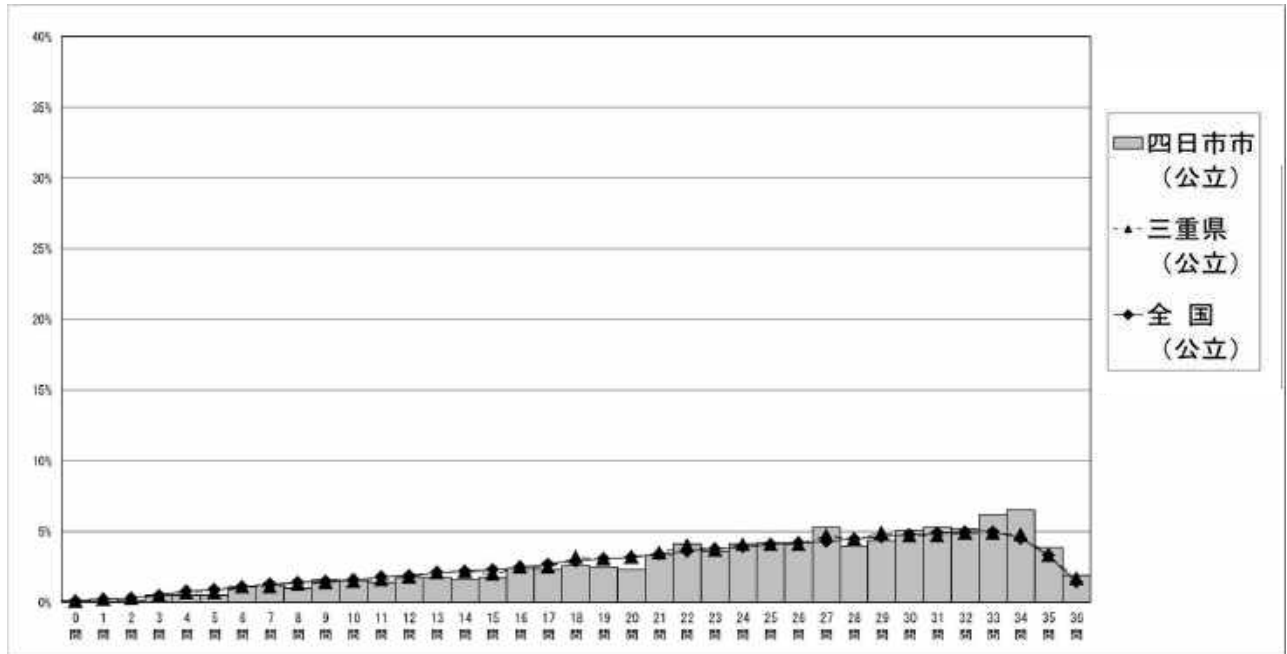




## 数学A

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
四日市市教育委員会	2,738	24.4 / 36	68	26.0	8.3
三重県 (公立)	15,470	23.5 / 36	65	25.0	8.3
全国 (公立)	982,811	23.3 / 36	64.6	25.0	8.5

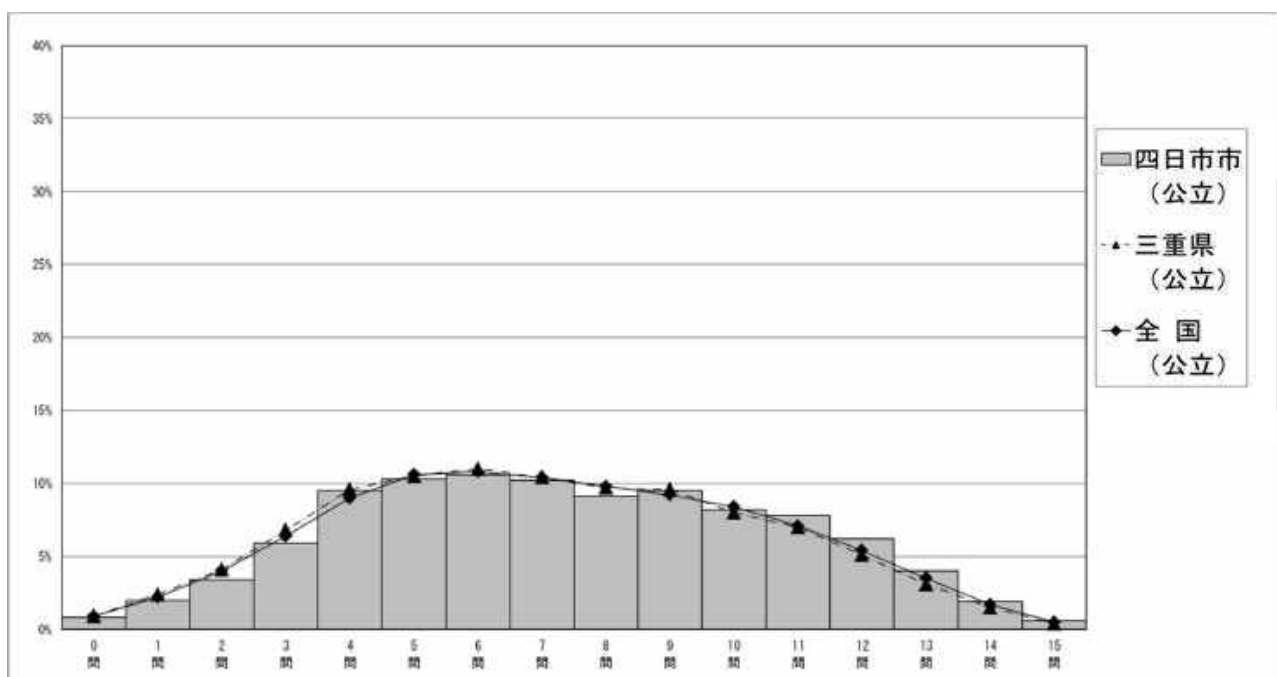
(横軸：正答数 (問)、縦軸：割合 (%))



## 数学B

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
四日市市教育委員会	2,741	7.4 / 15	49	7.0	3.3
三重県 (公立)	15,472	7.1 / 15	47	7.0	3.2
全国 (公立)	982,786	7.2 / 15	48.1	7.0	3.3

(横軸：正答数 (問)、縦軸：割合 (%))



### 3 校種・教科別 調査結果概要（小学校）

#### 【 小 学 校 国 語 】

##### (1) 学習指導要領の領域別・問題形式ごとの平均正答率（単位 %）

領域等	国語A			国語B			問題形式	国語A			国語B		
	設問数	四日市	全国	設問数	四日市	全国		設問数	四日市	全国	設問数	四日市	全国
話すこと・聞くこと	1	64.9	69.2	3	66.0	64.9	選択式	9	71.8	71.7	5	65.4	64.6
書くこと	2	62.1	60.6	5	54.3	53.4	短答式	6	79.1	79.4	1	70.7	69.2
読むこと	3	70.9	70.2	3	51.0	49.2	記述式	0			3	43.0	41.7
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	11	77.8	78.0	0			全体	15	75	74.8	9	59	57.5
全体	15	75	74.8	9	59	57.5							

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

##### (2) 本市の解答状況【小学校 国語】

◎ : 正答率が、全国平均よりも5ポイント以上高い      ○ : 正答率が、全国平均よりも2ポイント以上高い  
 ▼ : 正答率が、全国平均よりも2ポイント以上低い      ▼ : 正答率が、全国平均よりも5ポイント以上低い

	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	四日市市の状況	領域等				問題形式		
					話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	選択式	短答式	記述式
国語A	1	学級文集のタイトルを決める話し合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する	互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合う	▼							
	2一	お礼の気持ちを伝えるために、どのような内容を書いているのか、書かれている内容の説明として適切なものを選択する	目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く	▼							
	2二	手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する	手紙の構成を理解し、後付けを書く	◎							
	4一	俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する	俳句の情景を捉える	○							
	7(1)	漢字を書く(参加たいしょう)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	▼							
	7(3)	漢字を読む(申し込み期限)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○							
国語B	3一	「きつねの写真」を読み、登場人物の相互関係と場面についての描写を捉え、[ A ]に当てはまる言葉として適切なものを選択する	登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉える	○							
	3三	「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く	物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる	○							

※ 2ポイント以上の差がみられた設問について明記

# 【 小 学 校 算 数 】

## (1) 学習指導要領の領域別・問題形式ごとの平均正答率（単位 %）

領域等	算数A			算数B			問題形式	算数A			算数B		
	設問数	四日市	全国	設問数	四日市	全国		設問数	四日市	全国	設問数	四日市	全国
数と計算	8	80.7	80.6	5	51.8	52.8	選択式	7	79.6	79.6	3	54.0	54.1
量と測定	2	68.2	68.8	2	45.9	47.0	短答式	8	77.4	77.8	3	59.9	61.7
図形	2	80.5	81.1	1	11.5	13.2	記述式	0			5	31.2	31.6
数量関係	5	78.9	79.6	8	39.7	40.0	全体	15	78	78.6	11	45	45.9
全体	15	78	78.6	11	45	45.9							

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

## (2) 本市の解答状況【小学校 算数】

◎ : 正答率が、全国平均よりも5ポイント以上高い      ○ : 正答率が、全国平均よりも2ポイント以上高い  
 ▽ : 正答率が、全国平均よりも2ポイント以上低い      ▼ : 正答率が、全国平均よりも5ポイント以上低い

	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	四日市の状況	領域等				問題形式		
					数と計算	量と測定	図形	数量関係	選択式	短答式	記述式
算数A	1(2)	買ったリボンの長さ、1m当たりのリボンの値段と、代金が、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ	1より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し、数量の関係を数直線に表すことができる	○							
	2(3)	$6 + 0$ 、 $5 \times 2$ を計算する	加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる	▽							
	5	示された平行四辺形の面積の、半分の面積である三角形を正しく選ぶ	高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解している	▽							
	7	立方体の展開図から、示された面と平行な面を選ぶ	立方体の面と面の位置関係を理解している	▽							
算数B	2(2)	13本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を3等分するのは、何本目の直線と交わった点かを書く	直線の数とその間の数の関係に着目して、示された方法を問題場面に適用することができる	▽							

※ 2ポイント以上の差がみられた設問について明記

### 3 校種・教科別 調査結果概要（中学校）

#### 【 中 学 校 国 語 】

##### (1) 学習指導要領の領域別・問題形式ごとの平均正答率（単位 %）

領域等	国語A			国語B			問題形式	国語A			国語B		
	設問数	四日市	全国	設問数	四日市	全国		設問数	四日市	全国	設問数	四日市	全国
話すこと・聞くこと	4	74.9	75.4	3	72.8	72.4	選択式	22	79.1	78.5	5	79.4	79.6
書くこと	4	86.4	85.7	4	60.7	60.8	短答式	10	77.1	75.1	1	83.9	84.1
読むこと	6	73.9	73.8	4	71.7	72.1	記述式	0			3	56.0	55.9
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	79.0	77.2	1	39.9	41.4	全体	32	78	77.4	9	72	72.2
全体	32	78	77.4	9	72	72.2							

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

##### (2) 本市の解答状況【中学校 国語】

◎ : 正答率が、全国平均よりも5ポイント以上高い      ○ : 正答率が、全国平均よりも2ポイント以上高い  
 ▽ : 正答率が、全国平均よりも2ポイント以上低い      ▼ : 正答率が、全国平均よりも5ポイント以上低い

	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	四日市市の状況	領域等			問題形式			
					話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	選択式	短答式	記述式
国語A	5-1	〈立候補者から〉の欄の書き方を説明したものととして適切なものを選択する	文章の構成を工夫して分かりやすく書く	○							
	9-1	漢字を書く（組織の主導を大きくする）	文脈に即して漢字を正しく書く	◎							
	9-2	漢字を読む（鮮やかな色合い）	文脈に即して漢字を正しく読む	○							
	9-6	行書で書かれた「和」の特徴の組合せとして適切なものを選択する	行書の特徴を理解する	○							
	9-7	「徒然草」の作品の種類として適切なものを選択する	古典には様々な種類の作品があることを知る	◎							

※ 2ポイント以上の差がみられた設問について明記

# 【 中 学 校 数 学 】

## (1) 学習指導要領の領域別・問題形式ごとの平均正答率（単位 %）

領域等	数学A			数学B		
	設問数	四日市	全国	設問数	四日市	全国
数と式	12	73.4	70.4	3	46.4	46.3
図形	12	68.9	66.0	6	48.7	47.1
関数	8	61.0	57.4	3	52.1	50.8
資料の活用	4	60.4	57.6	3	50.8	49.1
全体	36	68	64.6	15	49	48.1

問題形式	数学A			数学B		
	設問数	四日市	全国	設問数	四日市	全国
選択式	13	69.1	66.8	4	54.5	53.8
短答式	23	66.9	63.4	6	66.8	66.3
記述式	0			5	24.2	21.7
全体	36	68	64.6	15	49	48.1

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合がありますため、各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

## (2) 本市の解答状況【中学校 数学】

- ◎ : 正答率が、全国平均よりも5ポイント以上高い    ○ : 正答率が、全国平均よりも2ポイント以上高い  
 ▽ : 正答率が、全国平均よりも2ポイント以上低い    ▼ : 正答率が、全国平均よりも5ポイント以上低い

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	四日市の状況	領域等				問題形式			
				数と式	図形	関数	資料の活用	選択式	短答式	記述式	
数学A	1 (1)	$\frac{5}{9} \times \frac{2}{3}$ を計算する。	分数の乗法の計算ができる。	○							
	1 (2)	正と負の数のときに四則計算の結果が負の数になるものを選ぶ	2つの負の数の和は負の数になることを理解している	○							
	1 (3)	$10 - 6 \div (-2)$ を計算する	加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、計算のきまりにしたがって計算できる	○							
	2 (3)	$(2x + 5y) - (6x - 3y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算ができる	○							
	2 (4)	等式 $x + 4 = 1$ を $x$ について解く	等式を目的に応じて変形することができる	◎							
	3 (2)	数量の関係を一元一次方程式で表す	具体的な場面で、一元一次方程式をつくらることができる	○							
	3 (4)	連立二元一次方程式 $\begin{cases} x + y = 5 \\ x - y = 1 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	◎							
	4 (2)	$\triangle ABC$ を、点Aから点Pに移すように平行移動した図形をかき	平行移動した図形をかきことができる	○							
	5 (4)	円柱の体積を求める	円柱の体積を求めることができる	◎							
	6 (1)	鈍角の位置にある角について正しい記述を選ぶ	鈍角の意味を理解している	○							
	6 (2)	$n$ 角形の1つの頂点からひいた対角線によって分けられる三角形の数を調べる	多角形の内角の和の求め方を理解している	○							
7 (1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書き	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	○								

	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	四日市市の状況	領域等				問題形式		
					数と式	図形	関数	資料の活用	選択式	短答式	記述式
数学 A	7 (2)	与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	作図の手順を読み、根拠として用いられている平行四辺形になるための条件を理解している	◎							
	8	事柄「 $\angle ABD = \angle CBD$ 、 $\angle ADB = \angle CDB$ ならば、 $AB = CB$ である。」の仮定をすべて書く	命題の仮定と結論を区別し、与えられた命題の仮定を読み取ることができる	◎							
	10 (1)	比例 $y = 4x$ について、 $x$ の値が3のときの $y$ の値を求める	与えられた比例の式について、 $x$ の値に対応する $y$ の値を求めることができる	○							
	10 (2)	比例のグラフから式を求める	与えられた比例のグラフから、 $x$ と $y$ の関係を $y = ax$ の式で表すことができる	◎							
	10 (3)	反比例の表から比例定数を求める	与えられた反比例の表において、比例定数の意味を理解している	◎							
	11 (1)	一次関数のグラフの傾きと切片の値を基に、式で表すことができる	一次関数のグラフの傾きと切片の値を基に、 $x$ と $y$ の関係を $y = ax + b$ の式で表すことができる	○							
	11 (2)	変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ	与えられた一次関数の表において、変化の割合の意味を理解している	○							
	13	二元一次方程式が表すグラフを選ぶ	二元一次方程式を関数を表す式とみて、そのグラフの傾きと切片の意味を理解している	○							
	14 (2)	6月1日から30日までの記録を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める	与えられた度数分布表について、ある階級の相対度数を求めることができる	◎							
数学 B	1 (3)	与えられた模様となるような万華鏡を作りたいときに、その基となる正三角形の模様を選ぶ	与えられた模様について、図形の移動に着目して観察し、対称性を的確に捉えることができる	▽							
	3 (2)	与えられた表やグラフを用いて、貯水量が1500万 $\text{m}^3$ になるまでに5月31日から経過した日数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	○							
	4 (1)	2つの角の大きさが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する	筋道を立てて考え、証明することができる	◎							
	4 (3)	点Dと点Eを $BD = CE$ の関係を保ったまま動かしたとき、 $\angle BFD$ の大きさについて、正しい記述を選ぶ	証明した事柄を用いて、新たな性質を見いだすことができる	○							
	5 (1)	1週間の総運動時間が420分のとき、含まれる階級の度数を求める	資料から必要な情報を適切に読み取ることができる	○							

※ 2ポイント以上の差がみられた設問について明記

## 4 各質問紙の調査結果からみえてくること

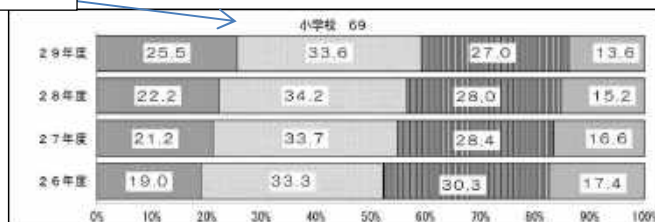
### 【グラフの見方】

＜経年変化グラフは本市のみの回答状況＞

(例) ○ 国語の勉強は好きですか。

<b>小</b>	59.1	60.5	<b>中</b>	59.3	60.5
----------	------	------	----------	------	------

質問紙 質問番号



平成29年度本市の**肯定的回答**状況と全国の**肯定的回答**状況の比較左から

(小) 市・全国 (中) 市・全国  
の回答を表す。

全国29年度(小) 25.5 35.0 25.4 14.0

平成29年度全国の回答状況  
左から1・2・3・4の回答を表す。

- ※ 数値の合計は100にならない場合がある。
- ※ 回答方法の記載がないグラフの表示は以下のとおりである。
- ※ 肯定回答は1を選択、肯定的回答は1・2を選択した場合を表す。

1	2	3	4
当てはまる そう思う	どちらかといえば、 当てはまる どちらかといえば、 そう思う	どちらかといえば、 当てはまらない どちらかといえば、 そう思う	当てはまらない そう思わない

### (1) 児童・生徒質問紙の4年間の経年変化及び学力の相関等

#### ① 国語に関する項目

##### ◇肯定的回答が、全国の結果を上回っている設問項目

＜小中とも＞

- ・ 国語の勉強は大切だと思いますか。
- ・ 読書は好きですか。
- ・ 国語の授業内容はよく分かりますか。
- ・ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。
- ・ 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。
- ・ 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。

＜中のみ＞

- ・ 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。

##### ◆肯定的回答が、全国の結果を下回っている設問項目

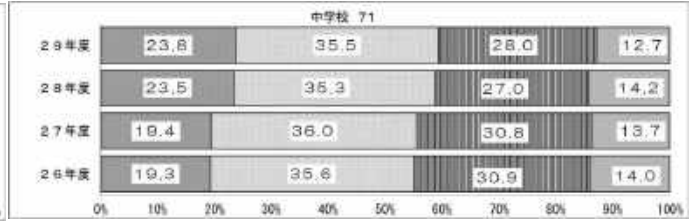
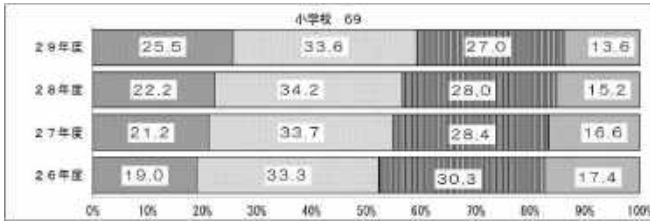
＜小中とも＞

- ・ 国語の勉強は好きですか。

## <グラフ>

○ 国語の勉強は好きですか。

**小** 59.1 | 60.5 **中** 59.3 | 60.5

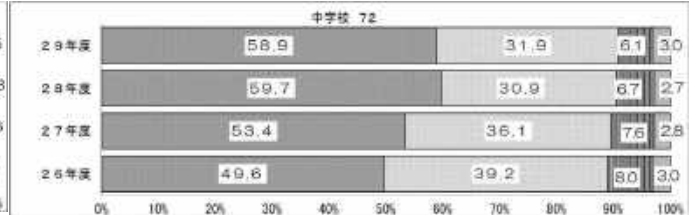
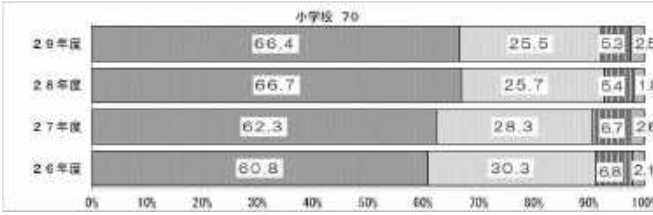


全国29年度(小) 25.5 | 35.0 | 25.4 | 14.0

全国29年度(中) 23.8 | 36.7 | 26.5 | 12.9

○ 国語の勉強は大切だと思いますか。

**小** 91.9 | 91.2 **中** 90.8 | 88.8

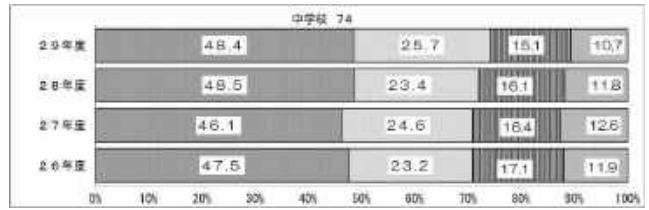
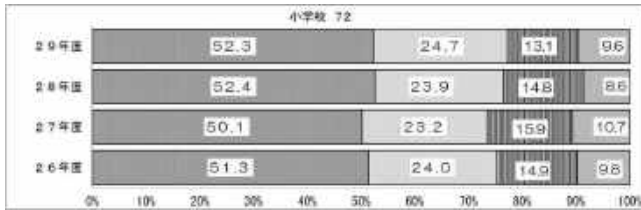


全国29年度(小) 65.7 | 25.5 | 5.9 | 2.8

全国29年度(中) 56.1 | 32.7 | 7.6 | 3.3

○ 読書は好きですか。

**小** 77.0 | 74.3 **中** 74.1 | 69.9

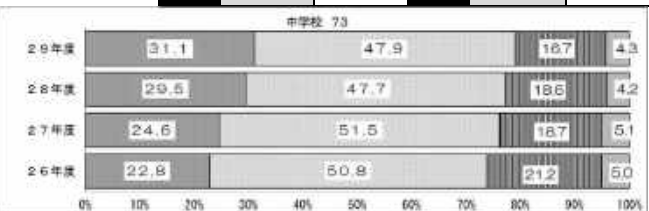
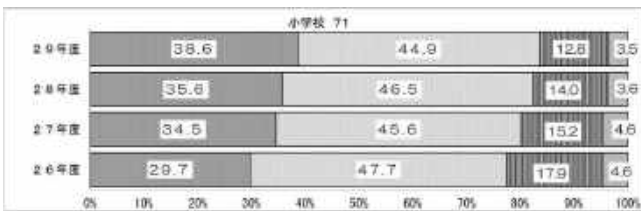


全国29年度(小) 49.0 | 25.3 | 15.2 | 10.3

全国29年度(中) 46.1 | 23.8 | 16.4 | 13.4

○ 国語の授業内容はよく分かりますか。

**小** 83.5 | 82.2 **中** 79.0 | 74.9

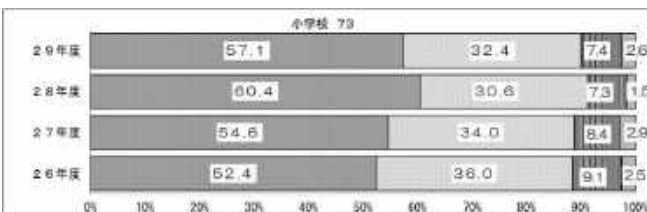


全国29年度(小) 38.9 | 43.3 | 13.3 | 4.3

全国29年度(中) 26.8 | 48.1 | 19.2 | 5.6

○ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

**小** 89.5 | 87.9 **中** 88.0 | 83.3



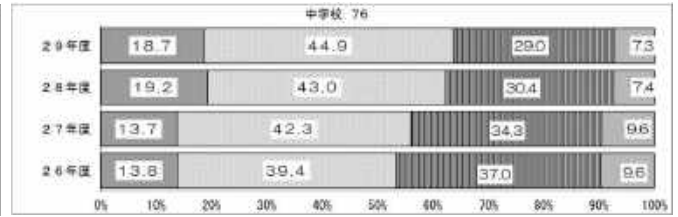
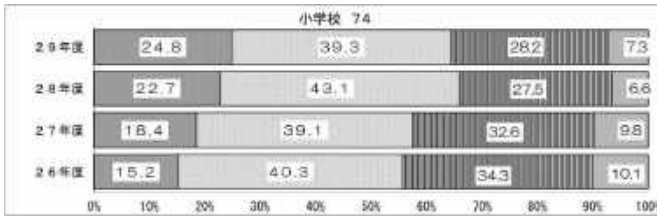
全国29年度(小) 55.7 | 32.2 | 8.7 | 3.1

全国29年度(中) 44.7 | 38.6 | 12.3 | 4.1



○ 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。

<b>小</b>	64.1	68.0	<b>中</b>	63.6	62.7
----------	------	------	----------	------	------

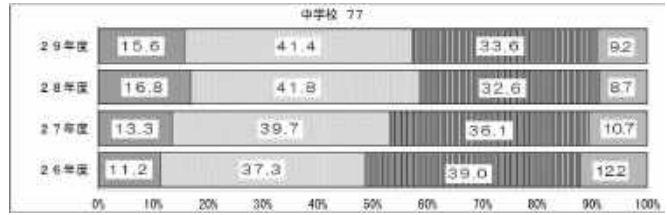
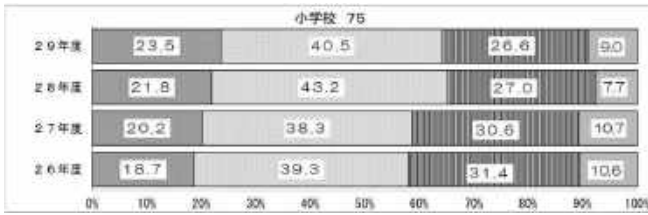


全国29年度(小)	26.1	41.9	25.1	6.7
-----------	------	------	------	-----

全国29年度(中)	19.4	43.3	28.9	8.1
-----------	------	------	------	-----

○ 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。

<b>小</b>	64.0	63.4	<b>中</b>	57.0	55.6
----------	------	------	----------	------	------

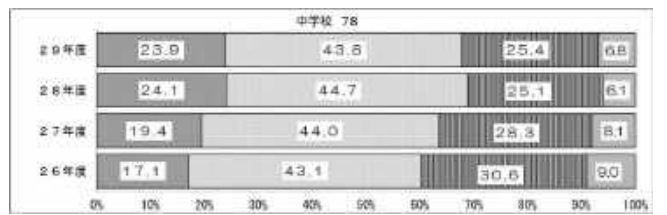
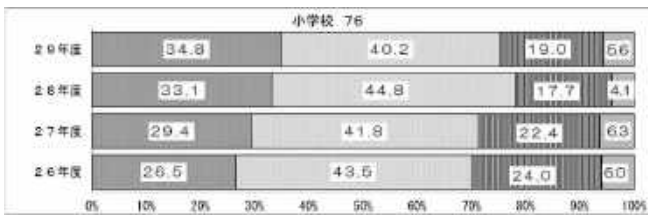


全国29年度(小)	21.2	42.2	28.1	8.2
-----------	------	------	------	-----

全国29年度(中)	15.3	40.3	34.2	9.8
-----------	------	------	------	-----

○ 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。

<b>小</b>	75.0	74.8	<b>中</b>	67.7	65.9
----------	------	------	----------	------	------



全国29年度(小)	33.1	41.7	19.6	5.3
-----------	------	------	------	-----

全国29年度(中)	22.7	43.2	26.2	7.5
-----------	------	------	------	-----

## <考察>

○ 小中とも「国語の勉強は大切だと思いますか。」「国語の授業はよく分かりますか。」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」という設問における肯定的回答の割合は、全国平均を上回っているが、「国語の勉強は好きですか。」という設問については、全国平均をやや下回る結果である。

このことから、本市の児童生徒は、国語の勉強への学習意欲や学習の大切さを感じているが、国語の勉強が好きだという気持ちはやや低く、課題である。今後は、国語の勉強への学習意欲、興味・関心を高め、一層わかりやすい授業づくりの工夫と改善に取り組む。

○ 小中とも「読書が好きですか。」という設問において、全国平均を大きく上回っており、本市の強みである。

- 本市の児童・生徒は、国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫したり、自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている。加えて、中学校では、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。このことから、本市の児童・生徒は、相手を意識して発表したり、自分の考えを話したり書いたりすることに気を付けていることがわかる。

## ＜今後の取り組み＞

本市の国語における学力調査の結果は、平成28年度から改善傾向にあるが、以下の点に留意して、国語の授業改善に継続的・重点的に取り組む。

- 言語活動を充実させるだけにとどまらず、その言語活動を通して、どのような「知識及び技能」を身に付けさせるのかを明確にした、子どもたちにとって「よく分かる」授業づくりを進めていく。
- 国語など授業で身に付けた「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語能力は、社会生活における様々な場面で、主体的に活動できる生きて働く知識及び技能として、習得させることが大切であることから、今後も、本市の子どもたちのさらなる言語能力の向上を目指す。
- 国語の指導内容と関連する下記の3項目については、肯定的回答をする割合が年々高くなってきているが、今後は、「うまく伝えるための話の組み立て方はどのようなものか」「考えを支える理由とはどのようなものか」といったことを、各学年の発達段階に応じて具体的に指導し、肯定的回答をさらに高めていく。
  - ・ 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫する。
  - ・ 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書く。
  - ・ 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりする。

## ② 算数・数学に関する項目

### ◇肯定的回答が、全国の結果を上回っている設問項目

＜小中とも＞

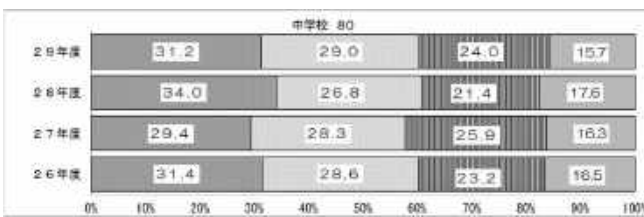
- ・ 算数・数学の勉強は好きですか。
- ・ 算数・数学の勉強は大切だと思いますか。
- ・ 算数・数学の授業内容はよく分かりますか。
- ・ 算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。
- ・ 算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。

＜中のみ＞

- ・ 算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。

## <グラフ>

○ 算数・数学の勉強は好きですか。 **小** 68.0 65.9 **中** 60.2 55.4

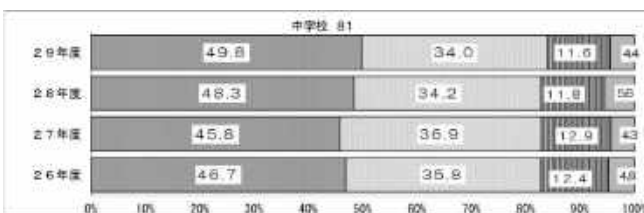
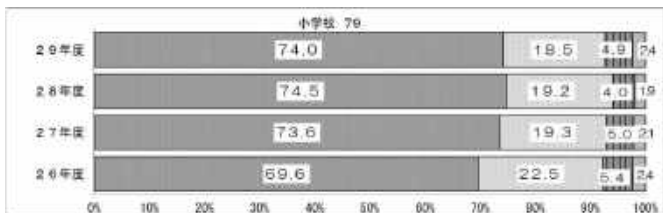


全国29年度(小) 38.5 27.4 19.3 14.5

全国29年度(中) 28.6 26.8 24.6 19.8

○ 算数・数学の勉強は大切だと思いますか。

**小** 92.5 92.0 **中** 83.8 81.1

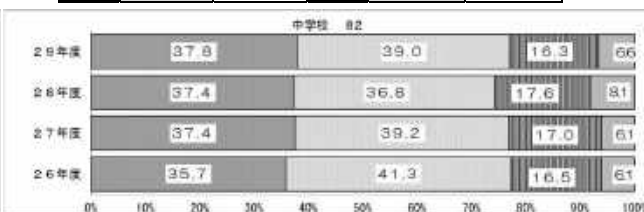
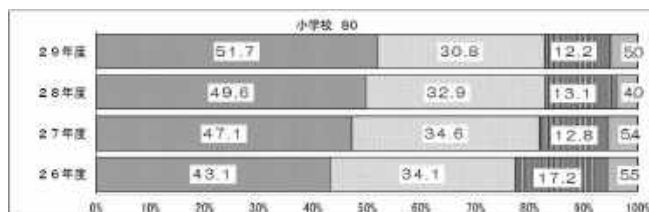


全国29年度(小) 72.9 19.1 5.0 2.7

全国29年度(中) 47.7 33.4 12.7 5.9

○ 算数・数学の授業内容はよく分かりますか。

**小** 82.5 80.6 **中** 76.8 69.4

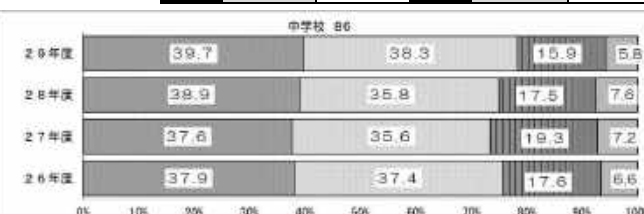
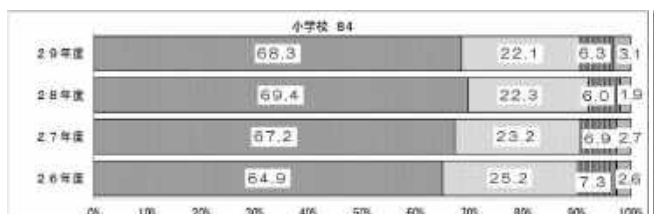


全国29年度(小) 47.6 33.0 13.7 5.5

全国29年度(中) 31.5 37.9 20.9 9.4

○ 算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

**小** 90.4 89.1 **中** 78.0 72.4

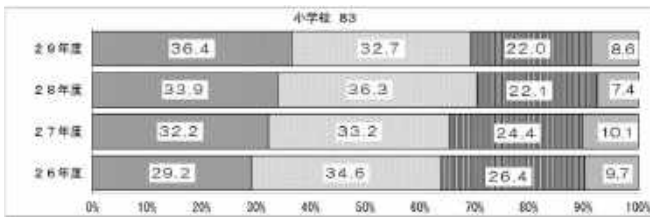


全国29年度(小) 66.7 22.4 7.5 3.2

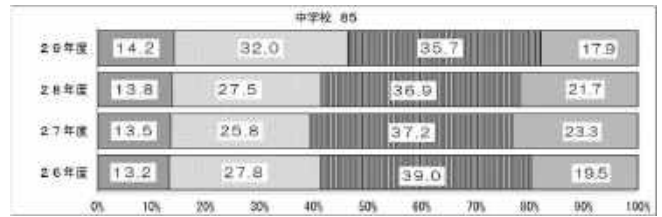
全国29年度(中) 37.7 34.7 18.6 8.7

○ 算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。

<b>小</b>	69.1	69.1	<b>中</b>	46.2	45.3
----------	------	------	----------	------	------



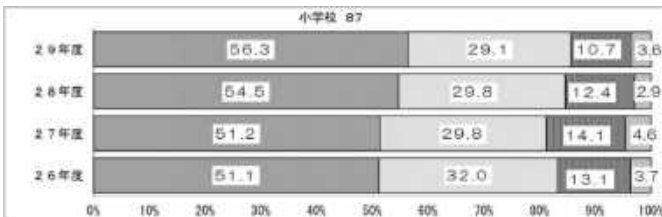
全国29年度(小)	35.6	33.5	21.8	8.8
-----------	------	------	------	-----



全国29年度(中)	16.5	28.8	35.5	18.9
-----------	------	------	------	------

○ 算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。

<b>小</b>	85.4	86.0	<b>中</b>	84.4	81.3
----------	------	------	----------	------	------



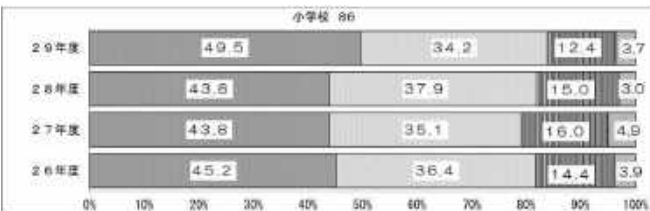
全国29年度(小)	57.0	29.0	10.4	3.2
-----------	------	------	------	-----



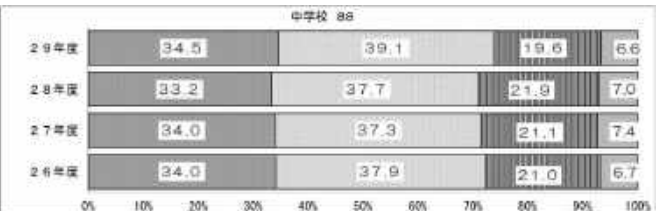
全国29年度(中)	47.0	34.3	13.0	5.3
-----------	------	------	------	-----

○ 算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。

<b>小</b>	83.7	82.6	<b>中</b>	73.6	72.1
----------	------	------	----------	------	------



全国29年度(小)	48.2	34.4	13.2	3.9
-----------	------	------	------	-----



全国29年度(中)	34.0	38.1	20.5	7.0
-----------	------	------	------	-----

### <考察>

- 本市の児童・生徒は、算数・数学が好きで、勉強を大切に感じ、授業はよく分ると全国を上回る肯定的回答をしていることから、おおむね授業改善が進んでいることがうかがえる。
- 小中とも取り上げた調査項目については、経年変化や全国平均との比較から判断すると、良い結果を示している。とりわけ、数学については、本市の強みといえる。

### <今後の取り組み>

算数・数学の学力は本市の強みであることから、小中学校の学習連携を一層図り、系統的・重点的に下記の点に留意して取り組んでいく。

- より算数・数学の本質に迫る楽しさを保障し、「算数・数学が好き」という意識を育てていく。
- 児童・生徒が算数・数学を学ぶ過程で、数学的な知識及び技能を確実に用いることができるようになるだけでなく、思考力・判断力、表現力等を発揮することによって能率的に物事を処理したり、事柄を簡潔かつ明瞭に表現して的確に捉えたりすることを実感できる授業づくりを進めていく。
- 言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現することによって、合理的、論理的に考えを進めることができるようになったり、新たな事柄に気付いたりすることが大切であることから、ノートを表現するツールとして活用することを、小学校低学年から児童が主体的に選択し、取り組むよう指示・指導の徹底を図る。
- 「公式やきまりを習うとき、そのわけを理解すること」によって、より汎用的な深い理解につなげていく。

## <まとめ>

本項の結果のとおり、国語、算数・数学ともに、ほとんどの項目で肯定的な回答をする児童・生徒の割合が、年々増加していることが分かる。新学習指導要領においても、子どもたちに学習内容をしっかりと理解させるとともに、1つの授業での学びを他教科の学習に活用させたり、実社会に生きて働く力として認識させたりすることが大切であると言われている。

そのような意識の育成を見ることが出来る項目として、下記3点については、今後も追跡調査し、さらなる改善をめざしていく。

- ・ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。
- ・ 算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。
- ・ 算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。

また、本市では、平成26年度から進めている「学力向上の全市的な取り組み」の効果が表れてきていると考える。

今後も、本調査問題を児童・生徒だけでなく、教職員が実際に解いたり、児童・生徒の解答類型を分析したりすることで、出題のねらい、指導事項との関連、児童・生徒の課題の把握を進め、日々の授業改善に活かすようにしていく。

### ③ 授業全般に関わる項目

#### ◇肯定的回答が、全国の結果と同等または、上回っている設問項目

<小中とも>

- ・ 学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。
- ・ 自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。
- ・ 道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか。

<中のみ>

- ・ 前学年までに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。
- ・ 前学年までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。
- ・ 先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

#### ◆肯定的回答が、全国の結果を下回っている設問項目

<小中とも>

- ・ 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。

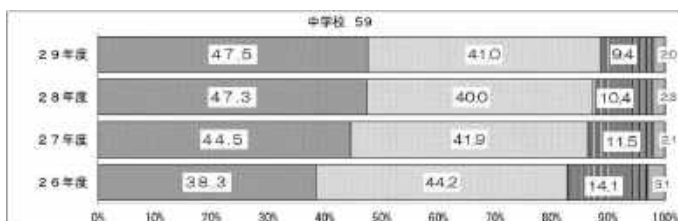
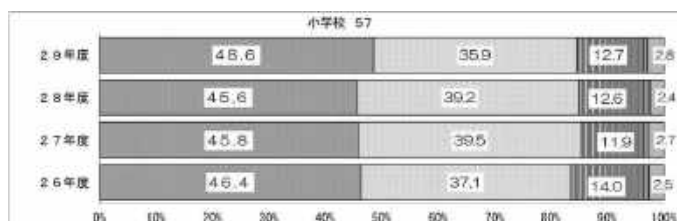
<小のみ>

- ・ 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。  
(難しいと感じている児童が全国平均を上回っている。)

### <グラフ>

○ 学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。

**小** 84.5 84.5 **中** 88.5 81.8

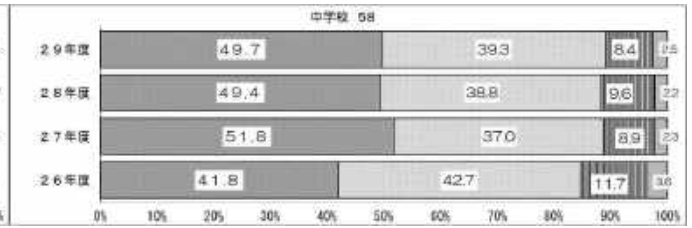
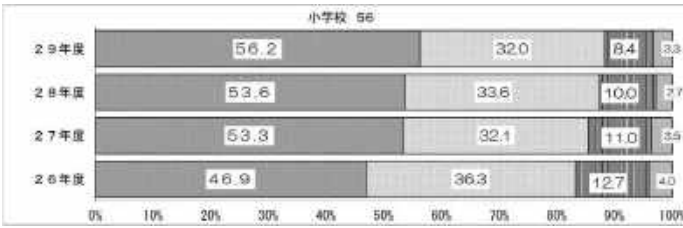


全国29年度(小) 46.9 37.6 12.5 2.8

全国29年度(中) 38.9 42.9 14.8 3.2

○ 自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。

<b>小</b>	88.2	84.7	<b>中</b>	89.0	84.4
----------	------	------	----------	------	------

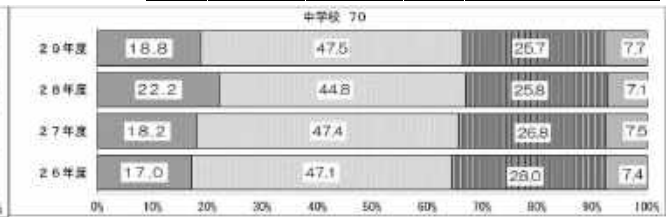
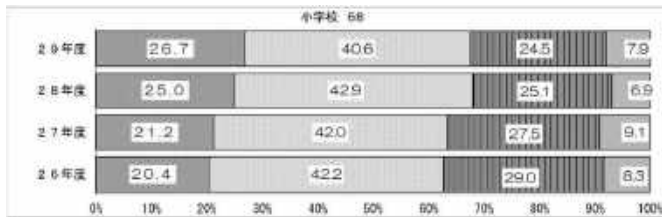


全国29年度(小)	52.9	31.8	11.6	3.6
-----------	------	------	------	-----

全国29年度(中)	42.5	41.9	12.1	3.3
-----------	------	------	------	-----

○ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。

<b>小</b>	67.3	68.2	<b>中</b>	66.3	64.8
----------	------	------	----------	------	------

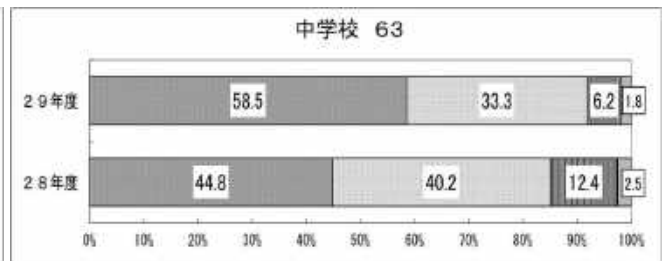
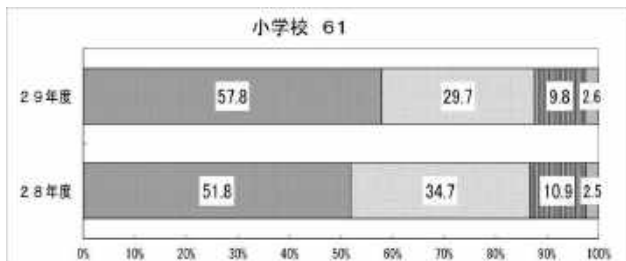


全国29年度(小)	26.9	41.3	24.2	7.3
-----------	------	------	------	-----

全国29年度(中)	19.7	45.1	26.7	8.1
-----------	------	------	------	-----

○ 前学年までに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。

<b>小</b>	87.5	88.2	<b>中</b>	91.8	87.8
----------	------	------	----------	------	------

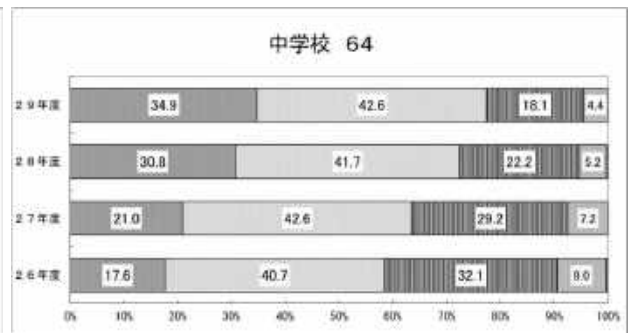
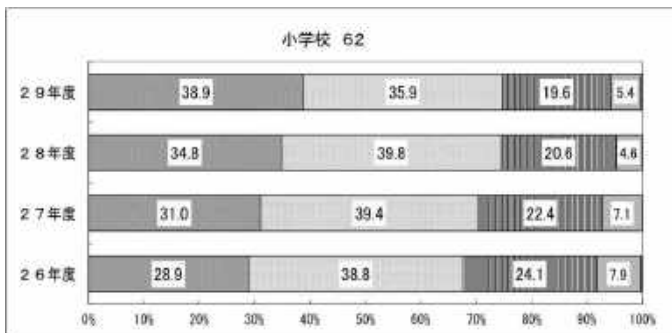


全国29年度(小)	58.6	29.6	9.1	2.5
-----------	------	------	-----	-----

全国29年度(中)	53.1	34.7	9.4	2.5
-----------	------	------	-----	-----

○ 前学年までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。

<b>小</b>	74.8	76.2	<b>中</b>	77.5	66.1
----------	------	------	----------	------	------

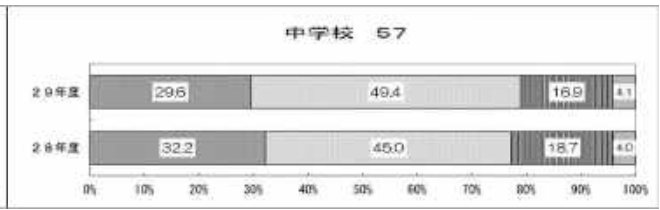
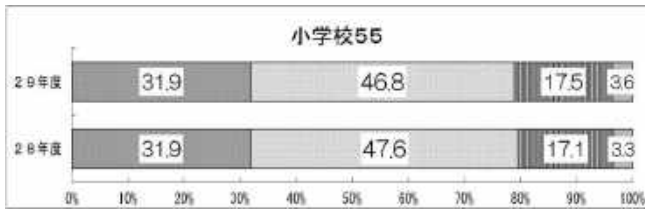


全国29年度(小)	40.3	35.9	18.3	5.3
-----------	------	------	------	-----

全国29年度(中)	25.3	40.8	26.7	7.0
-----------	------	------	------	-----

○ 先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

<b>小</b>	78.7	77.9	<b>中</b>	79.0	74.9
----------	------	------	----------	------	------

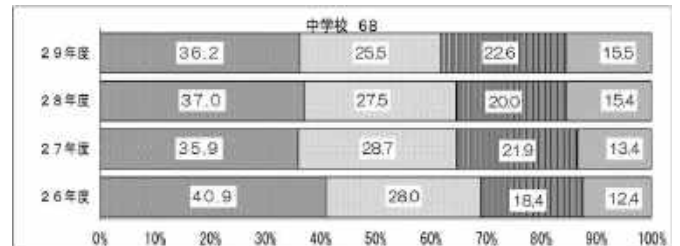
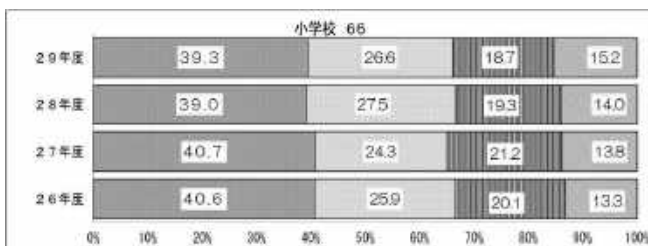


全国29年度(小)	30.5	47.4	18.3	3.8
-----------	------	------	------	-----

全国29年度(中)	26.8	48.1	20.1	4.9
-----------	------	------	------	-----

○ 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか

<b>小</b>	65.9	59.5	<b>中</b>	61.7	62.5
----------	------	------	----------	------	------

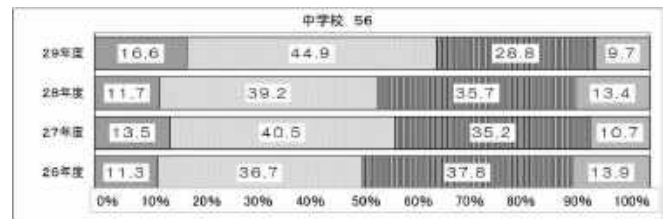
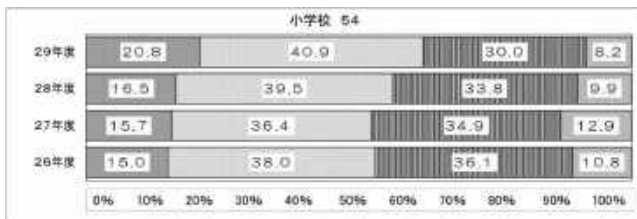


全国29年度(小)	32.9	26.6	22.9	17.4
-----------	------	------	------	------

全国29年度(中)	35.6	26.9	21.4	15.9
-----------	------	------	------	------

○ 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。

<b>小</b>	61.7	69.8	<b>中</b>	61.5	64.3
----------	------	------	----------	------	------

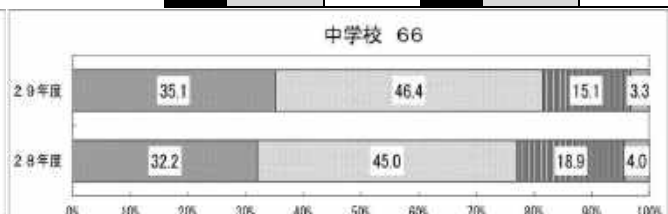
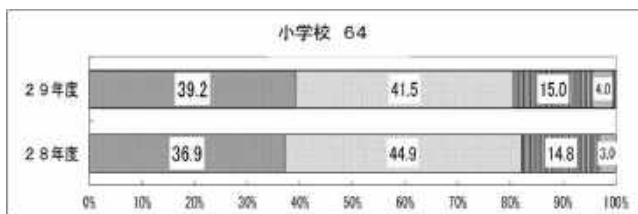


全国29年度(小)	27.1	42.7	23.1	6.7
-----------	------	------	------	-----

全国29年度(中)	21.3	43.0	25.7	9.7
-----------	------	------	------	-----

○ 道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか。

<b>小</b>	80.7	78.5	<b>中</b>	81.5	76.0
----------	------	------	----------	------	------



全国29年度(小)	37.2	41.3	16.7	4.6
-----------	------	------	------	-----

全国29年度(中)	33.2	42.8	18.1	5.7
-----------	------	------	------	-----



## <考察>

- 本市の児童・生徒は、言語活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができ、発表することが得意である。
  - ・ 「話すこと・聞くこと」「話し合うこと」に関連する項目について、肯定的回答をした割合は、概ね全国平均を上回り、経年変化で見ても、その割合が年々高くなっている。このような結果から、本市の小中学校の授業の中では、「話す・聞く」「話し合う」といった言語活動が確保されており、その言語活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
  - ・ 昨年度から新設された「前学年までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。」という設問では、小中ともに全国平均を上回るとともに、昨年度より小0.9ポイント、中0.2ポイント向上している。このことから、言語活動を通して身に付けた言語能力を活用していることが分かる。
- 本市の児童は、400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことにやや抵抗がある。
- 授業中での目標（めあて・ねらい）の明示、最後に学習内容を振り返る活動の確保に関する設問項目の肯定的回答の割合は、ともに昨年度よりも高まったが、小学校でやや全国平均を下回った。
- 『道徳の時間』の設問項目について、全国平均より上回った。道徳的な教材を読み取るような授業ではなく、教材などをもとにして、「考え、議論する道徳」の取り組みが広がりがつつある。
- 『総合的な学習の時間』の設問項目について、小中ともに全国平均を下回った。総合的な学習において、独自のテーマであったり、他教科と関連させたりしたテーマを題材にして、探求的に学ぶ単元の構成をより意識する必要がある。

本市では、問題解決能力向上を目指した指導内容・方法の研究を行っており、その中で、子どもたちの興味・関心などに合わせた問題の提示を大切にしている。

そして、その問題に対して、既習の知識や技能を活用して考えたり、友達と学びを深めたりしている。さらに、授業の最後には、学んだことなどをしっかりと認識し、次の学びにつなげる授業づくりを進めている。

# ここがすてき！ 四日市の子

自己肯定感、自己有用感、挑戦心がある。好きな授業がある。読書が好き！  
先生との関係性がよい。自分の考えや意見をいう力が育っている。授業改善、弁論、1分間  
コメントなど良い影響！小学生は地域行事に関心が高く、中学生はクラブに熱心。

- 「学校に行くのが楽しい！」という子が全国より多い！

学校種	四日市	全国	全国差
小学校	88.2	86.3	+1.9
中学校	83.7	80.3	+3.4



- 「学校で、好きな授業がある！」という子が全国より多い！中学校は顕著！

学校種	四日市	全国	全国差
小学校	94.2	93.0	+1.2
中学校	84.3	79.2	+5.1

- 「自分には、よいところがあると思う！」という子が全国より多い！

学校種	四日市	全国	全国差
小学校	78.9	77.9	+1.0
中学校	75.2	70.7	+4.5

- 「人の役に立つ人間になりたい！」という子が全国よりやや多い！

学校種	四日市	全国	全国差
小学校	93.2	92.5	+0.7
中学校	93.6	91.9	+1.7

- 「人が困っているときは進んで助ける！」という子が全国より多い！

学校種	四日市	全国	全国差
小学校	86.9	85.3	+1.6
中学校	86.8	84.4	+2.4

- 「難しいことでも失敗を恐れず挑戦する！」という子が全国より多い！

学校種	四日市	全国	全国差
小学校	79.4	77.4	+2.0
中学校	74.8	71.0	+3.8

- 「友達の前で自分の意見や考えを発表することが得意！」という子が全国より多い！ 中学校は顕著！

学校種	四日市	全国	全国差
小学校	54.5	52.2	+2.3
中学校	56.0	50.5	+5.5



- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う！」という子が全国より多い！

学校種	四日市	全国	全国差
小学校	87.5	86.0	+1.5
中学校	82.9	80.4	+2.5

- 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる！」という子が全国より多い！中学校は顕著！

学校種	四日市	全国	全国差
小学校	87.7	85.1	+2.6
中学校	81.6	75.5	+6.1

- 「今住んでいる地域の行事参加している！」という子が全国より多い！小学校は顕著！

学校種	四日市	全国	全国差
小学校	70.6	62.6	+8.0
中学校	45.1	42.1	+3.0

小学校は・・・

- 「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある！」という子が全国よりやや多い！

学校種	四日市	全国	全国差
小学校	64.5	63.9	+0.6



中学校は・・・

- 「学校の部活動に参加している！」という子が全国よりとても多い！

学校種	四日市	全国	全国差
中学校	95.1	86.6	+8.5

# ここが課題！ 四日市の子

土日の勉強時間がやや短い傾向！  
スマートフォンの使い方等、家庭内でのルールの徹底が弱い！

- 「土・日、1日当たり2時間以上勉強する！」という子が全国より少ない！

学校種	四日市	全国	全国差
小学校	19.9	24.6	-4.7
中学校	38.4	41.8	-3.4



- 「携帯電話・スマートフォンについて家の人との約束を守っている！」という子が全国より少ない！小学校は顕著！

学校種	四日市	全国	全国差
小学校	43.5	48.7	-5.2
中学校	48.9	50.6	-2.5

小学校は・・・

- 「ボランティア活動に参加している！」という子が全国より少ない！

学校種	四日市	全国	全国差
小学校	52.8	59.3	-6.5

中学校は・・・

- 「地域や社会をよくするために何をすべきか考える！」という子が全国より少ない！

学校種	四日市	全国	全国差
中学校	31.6	33.4	-1.8



#### ④ 学習習慣に関わる項目

- 1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。
  - ・ 小中とも1日あたりの勉強時間が長い児童・生徒の方が、平均正答率が高い傾向がみられ、また、「まったくしない」と回答している割合は、全国と比較して低い。
  - ・ 学校が休みの日の1日あたりの勉強時間が長い児童・生徒の方が、平均正答率が高い傾向がみられる。
  - ・ 「2～3時間勉強している」「3～4時間勉強している」「4時間以上勉強している」と答えた割合は、小中学校ともに全国と比べて低い。

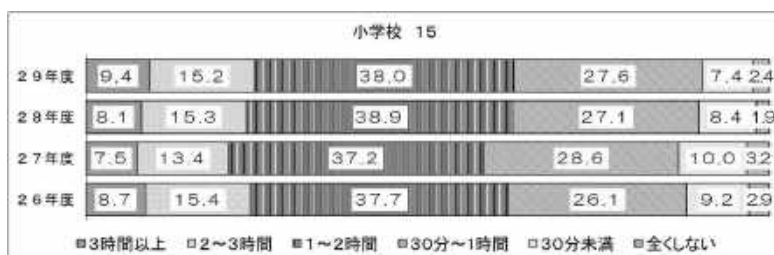
#### ◇肯定的回答が、全国の結果を上回っている設問項目

<小中とも>

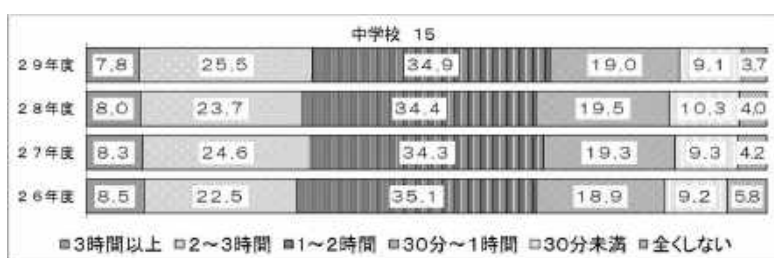
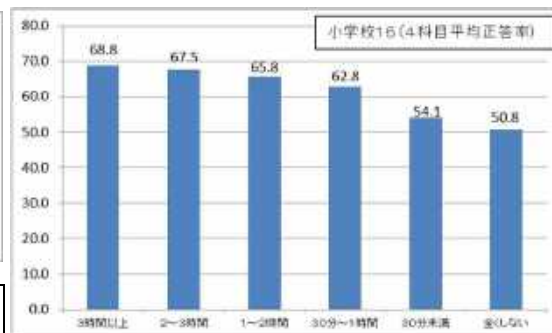
- ・ 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。
- ・ 家で、学校の宿題をしていますか。
- ・ 家で、学校の授業の予習をしていますか。
- ・ 家で、学校の授業の復習をしていますか。

#### <グラフ>

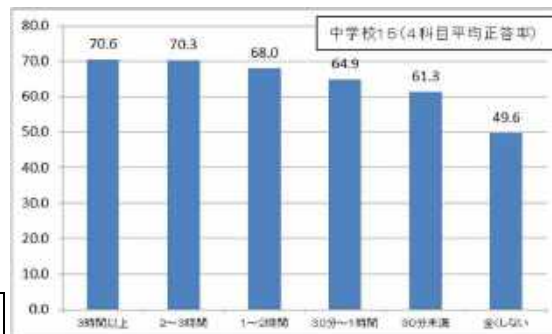
- 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間を含む）



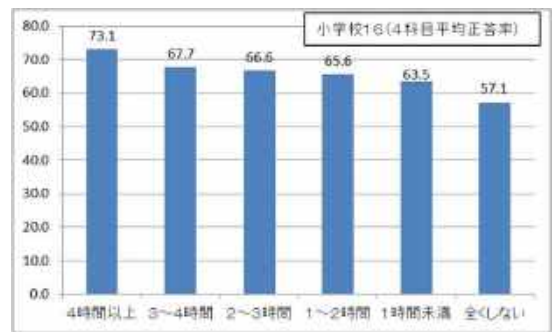
全国29年度(小)	11.9	15.2	37.3	24.3	8.4	2.9
-----------	------	------	------	------	-----	-----



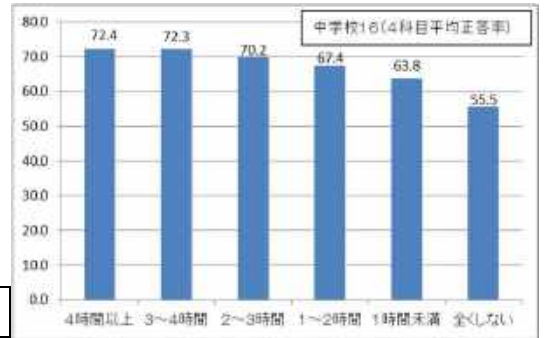
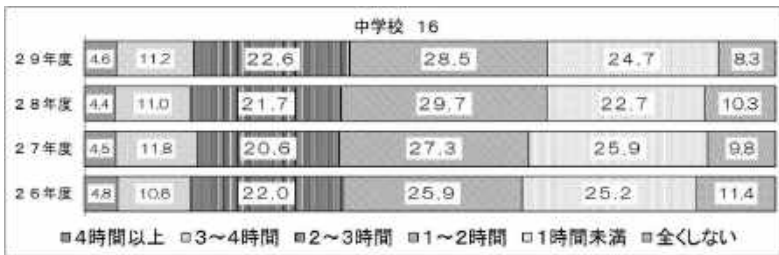
全国29年度(中)	10.1	25.3	34.2	17.2	8.3	4.9
-----------	------	------	------	------	-----	-----



○ 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。  
(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)。

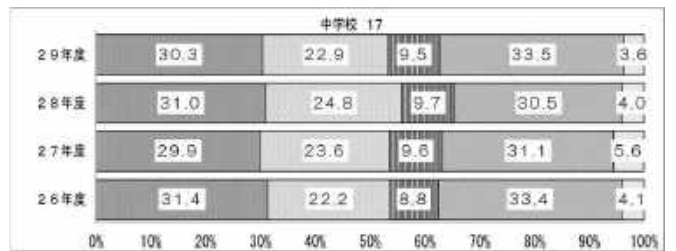
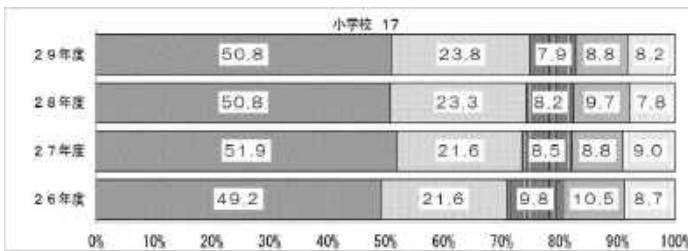


全国29年度(小)	7.1	5.1	12.4	32.7	32.9	9.7
-----------	-----	-----	------	------	------	-----



全国29年度(中)	5.7	12.1	24.0	27.6	20.4	10.0
-----------	-----	------	------	------	------	------

○ 学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか。

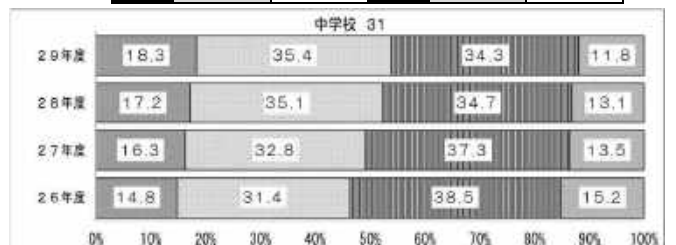
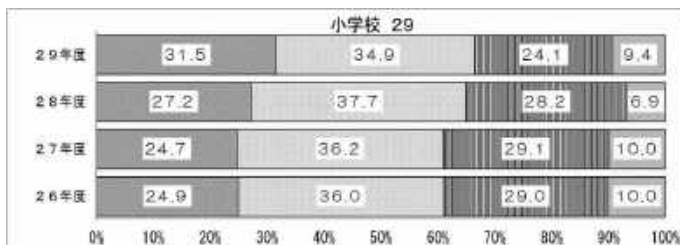


回答左から ①・・・学習塾に通っていない ②・・・学校より進んだ内容や難しい内容を勉強している ③・・・分からなかったところを勉強している  
④・・・②と③の両方の内容 ⑤・・・②と③の内容のどちらでもない

全国29年度(小)	53.7	23.5	6.9	8.6	6.8
全国29年度(中)	38.5	20.3	8.7	28.3	4.1

○ 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

<b>小</b>	66.4	64.5	<b>中</b>	53.7	51.5
----------	------	------	----------	------	------

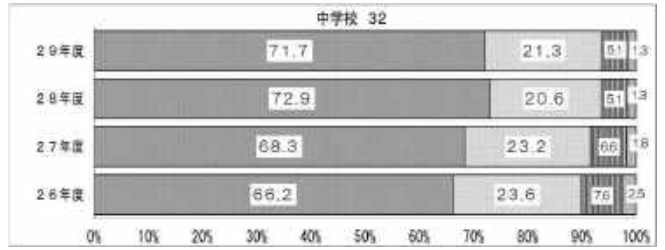
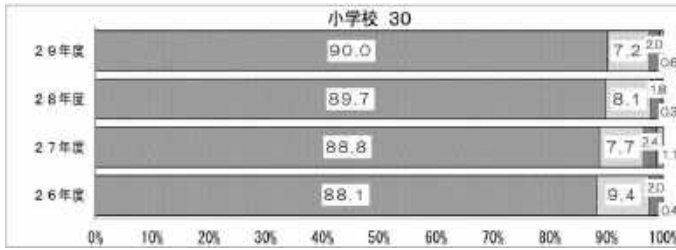


全国29年度(小)	30.0	34.5	26.1	9.4
全国29年度(中)	18.6	32.9	33.9	14.5



○ 家で、学校の宿題をしていますか。

<b>小</b>	97.2	96.9	<b>中</b>	93.0	89.5
----------	------	------	----------	------	------

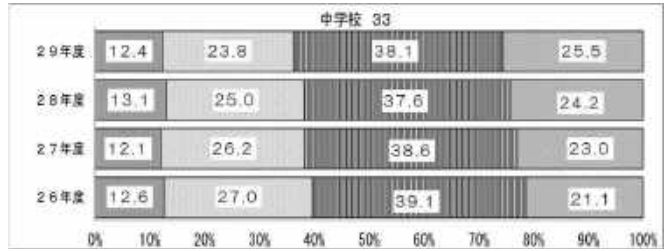
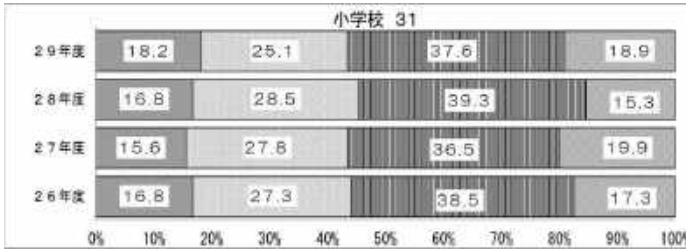


全国29年度(小)	88.0	8.9	2.3	0.8
-----------	------	-----	-----	-----

全国29年度(中)	67.7	21.8	7.5	2.9
-----------	------	------	-----	-----

○ 家で、学校の授業の予習をしていますか。

<b>小</b>	43.3	41.0	<b>中</b>	36.2	31.7
----------	------	------	----------	------	------

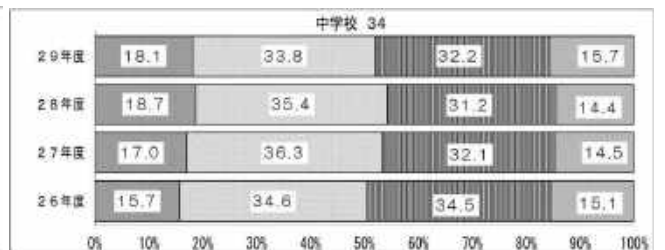
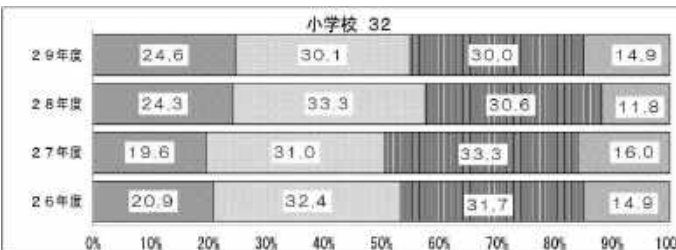


全国29年度(小)	16.3	24.7	37.3	21.6
-----------	------	------	------	------

全国29年度(中)	11.3	20.4	36.9	31.2
-----------	------	------	------	------

○ 家で、学校の授業の復習をしていますか。

<b>小</b>	54.7	53.8	<b>中</b>	51.9	50.5
----------	------	------	----------	------	------

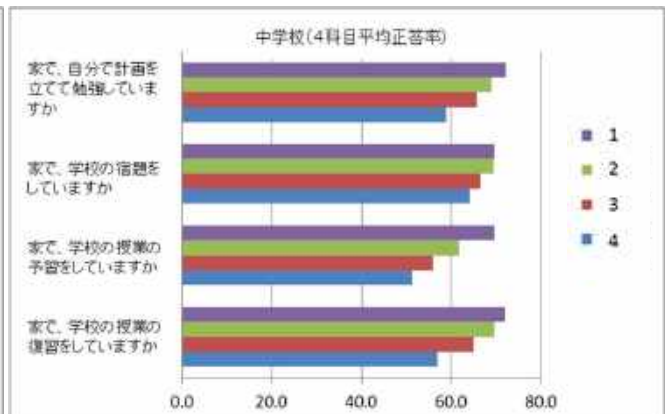
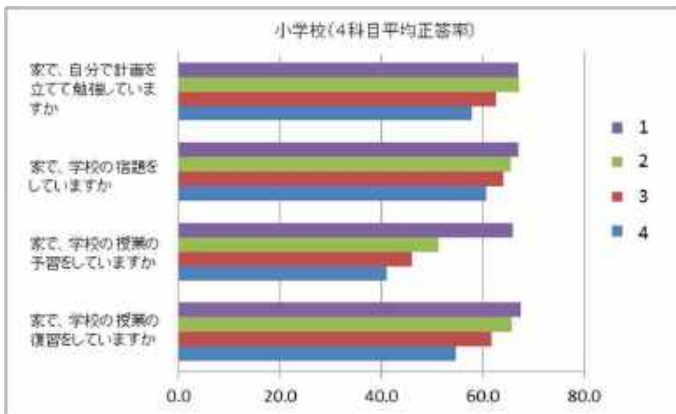


全国29年度(小)	23.6	30.2	29.7	16.3
-----------	------	------	------	------

全国29年度(中)	18.9	31.6	30.6	18.7
-----------	------	------	------	------

※ 上記4項目の学力との相関

○ 4項目すべてにおいて、肯定的な回答をした方が、平均正答率が高い傾向がみられる。

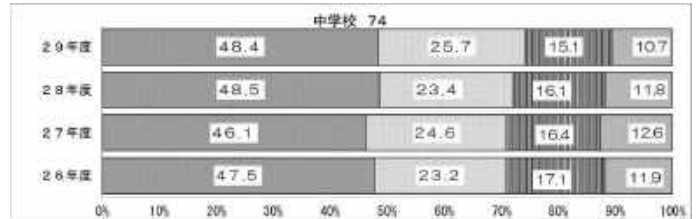
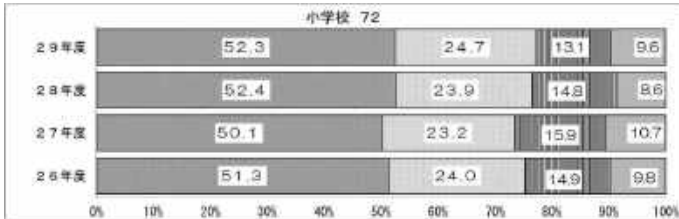


## ⑤ 読書習慣

○ 「読書」と平均正答率には相関関係がみられる。

- ・ 小中とも「読書が好き」と肯定回答をした児童・生徒の方が、平均正答率も高い傾向にある。
- ・ 小中とも、国語については、読書時間が長くなると平均正答率が高くなる傾向があるが、算数・数学については、必ずしも平均正答率が高くなるとは言えない。
- ・ 1日10分以下の読書時間の割合は、全国と比較して低い。

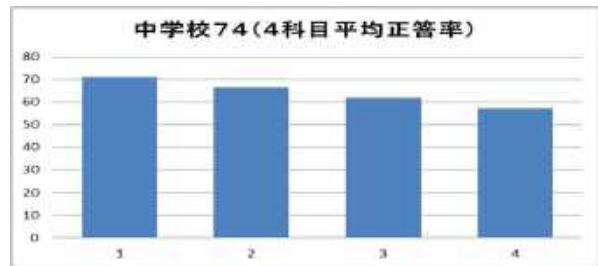
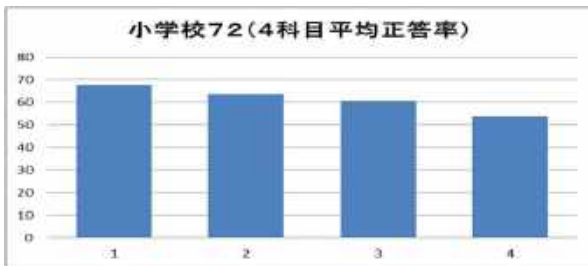
○ 読書は好きですか。



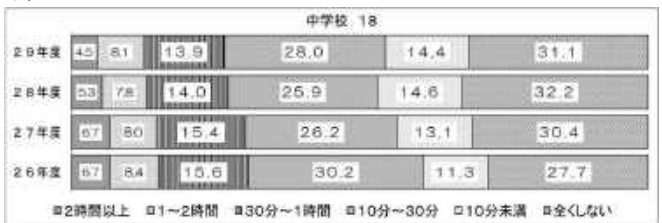
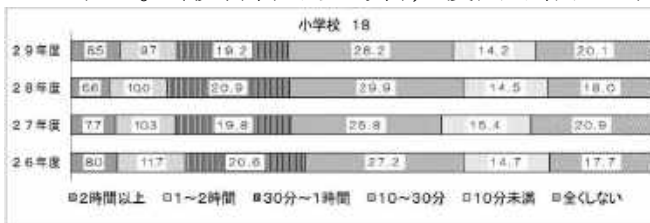
全国29年度(小) 49.0 25.3 15.2 10.3

全国29年度(中) 46.1 23.8 16.4 13.4

1 ■ 当てはまる 2 ■ どちらかといえば、当てはまる 3 ■ どちらかといえば、当てはまらない 4 □ 当てはまらない



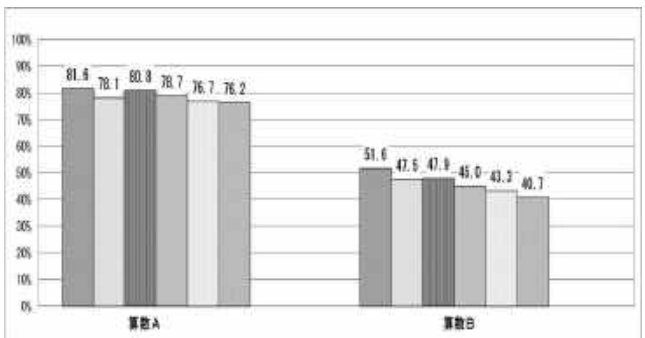
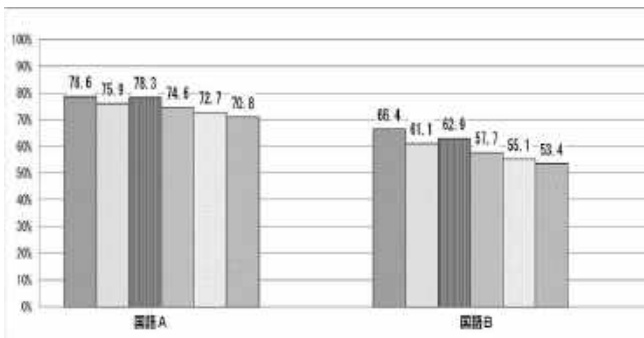
○ 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



全国29年度(小) 6.9 9.9 19.7 26.8 16.1 20.5

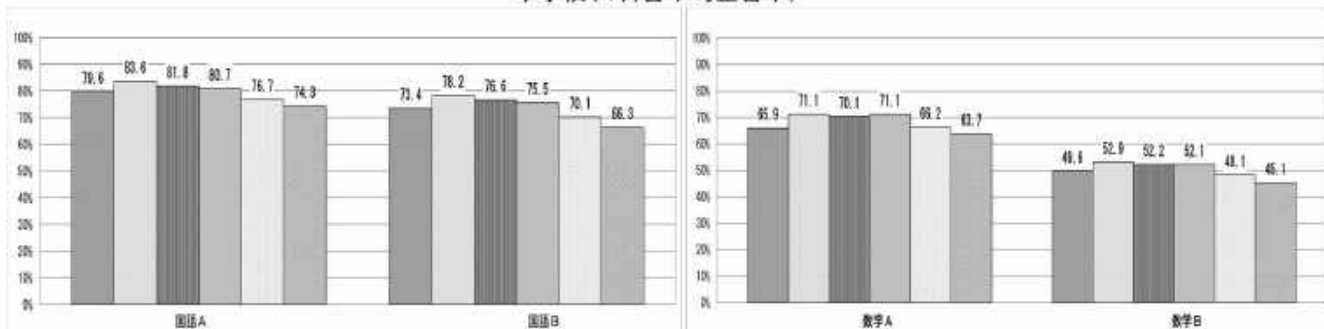
全国29年度(中) 5.7 8.3 15.2 22.2 12.8 35.6

### 小学校(4科目平均正答率)





中学校(4科目平均正答率)



⑥ 基本的生活習慣

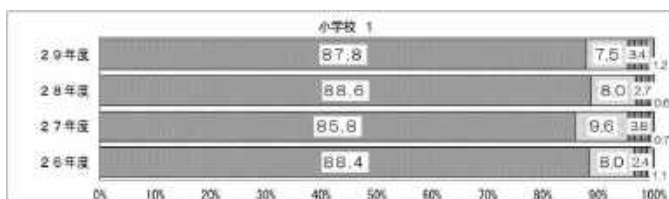
◇肯定的回答が、全国の結果と同程度または、上回っている設問項目

<小中とも>

- ・ 朝食を毎日食べていますか。
- ・ 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。
- ・ 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

○ 朝食を毎日食べていますか。

<b>小</b>	95.3	95.4	<b>中</b>	94.3	93.2
----------	------	------	----------	------	------

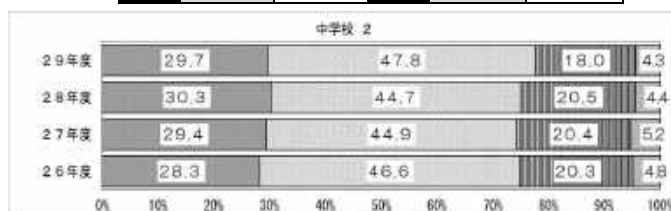
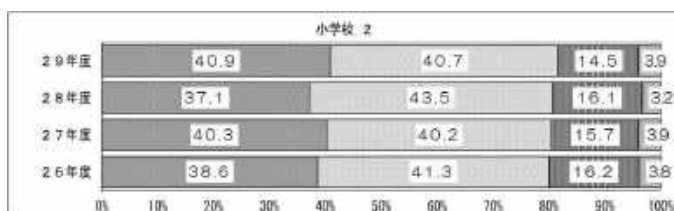


全国29年度(小)	87.0	8.4	3.7	0.9
-----------	------	-----	-----	-----

全国29年度(中)	82.7	10.5	4.9	1.9
-----------	------	------	-----	-----

○ 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

<b>小</b>	81.6	79.8	<b>中</b>	77.5	75.8
----------	------	------	----------	------	------

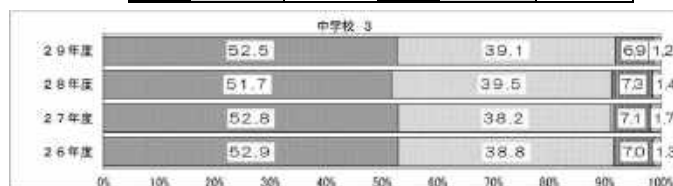
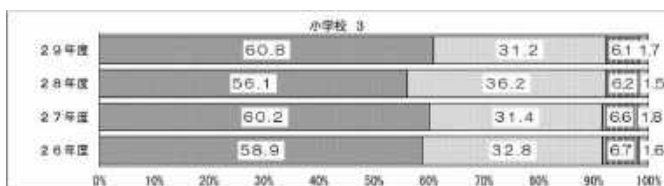


全国29年度(小)	38.2	41.6	16.5	3.6
-----------	------	------	------	-----

全国29年度(中)	31.3	44.5	19.5	4.8
-----------	------	------	------	-----

○ 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

<b>小</b>	92.0	91.2	<b>中</b>	91.6	92.4
----------	------	------	----------	------	------

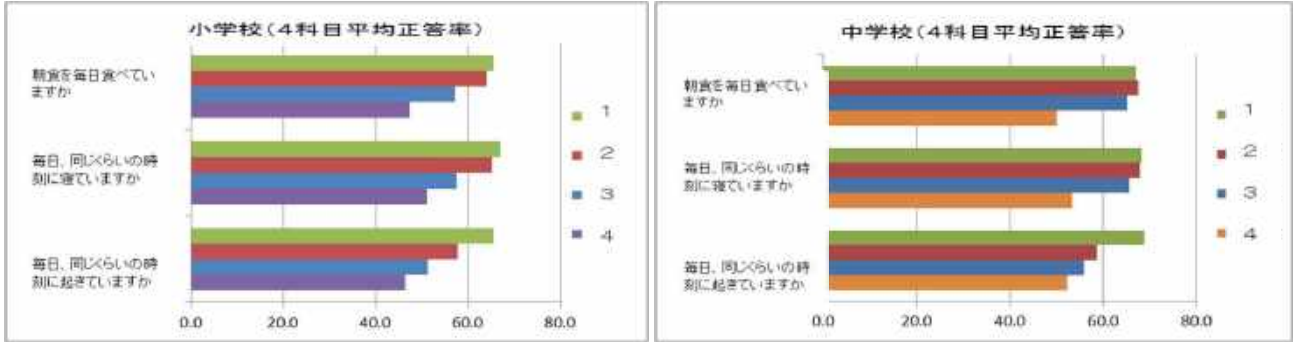


全国29年度(小)	58.9	32.3	7.1	1.7
-----------	------	------	-----	-----

全国29年度(中)	56.3	36.1	6.2	1.3
-----------	------	------	-----	-----

※上記3項目の学力との相関

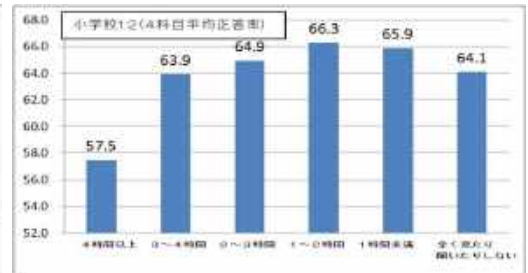
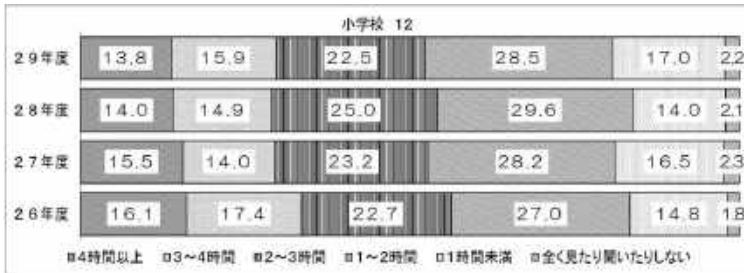
○ どの項目も肯定的な回答をした児童生徒の方が、学力が高い傾向にある。



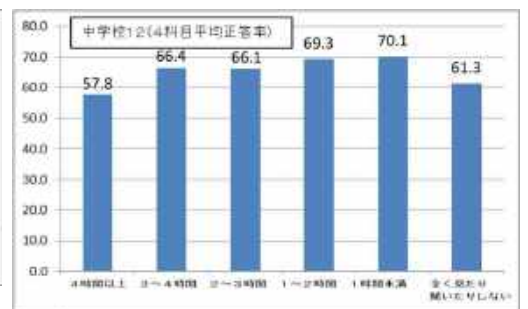
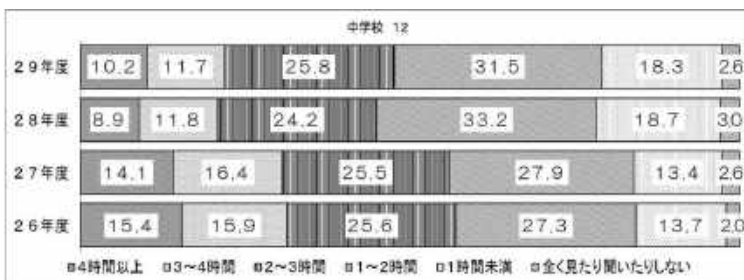
◇ テレビやビデオ・DVD、テレビゲーム、携帯電話やスマートフォンに関して

- ・ 小学校において、テレビ等を見る時間が3時間以上の割合が、平成26年度に比べると減少傾向にある。
- ・ 中学校において、テレビ等を全く見ない、または1時間以下の生徒の割合が増加している。その要因としては、スマートフォン等でメールやインターネットなどを行っていることが考えられる。
- ・ 小中ともにテレビ等を見る時間が長くなると、平均正答率が低下する傾向が見られる。
- ・ 小中ともに、テレビゲーム等をする時間の長さの割合は、大きな変化は見られない。
- ・ テレビゲーム等をする時間が長くなると、平均正答率が低下する傾向がある。
- ・ 小中学校ともに、携帯電話等を持っていない児童・生徒は減少傾向にある。

○ 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除く)。

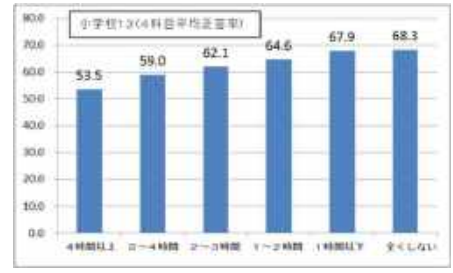


全国29年度(小)	16.6	16.1	23.0	27.3	14.8	2.1
-----------	------	------	------	------	------	-----

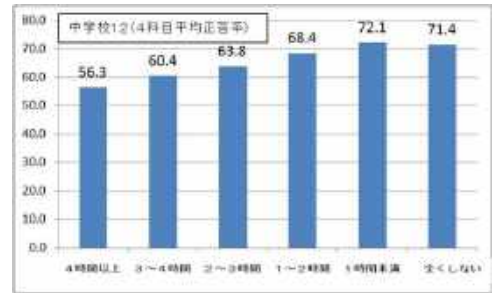
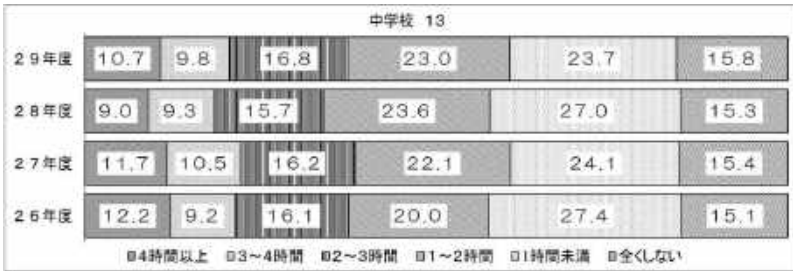


全国29年度(中)	12.0	13.3	23.8	30.1	18.3	2.4
-----------	------	------	------	------	------	-----

○ 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。

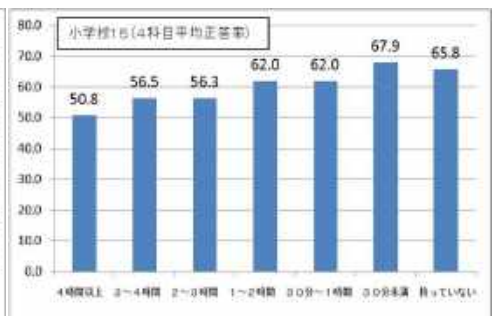
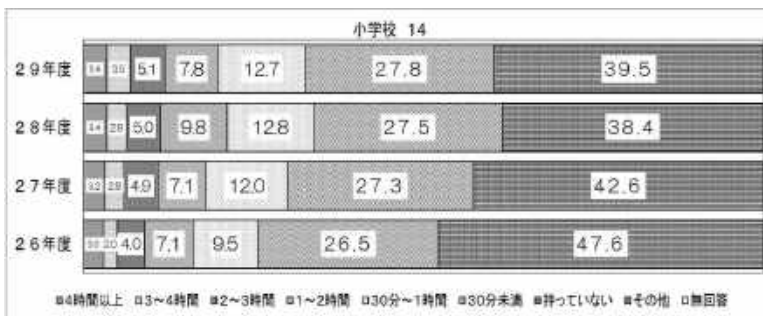


全国29年度(小)	9.3	8.3	13.5	24.4	30.4	14.0
-----------	-----	-----	------	------	------	------

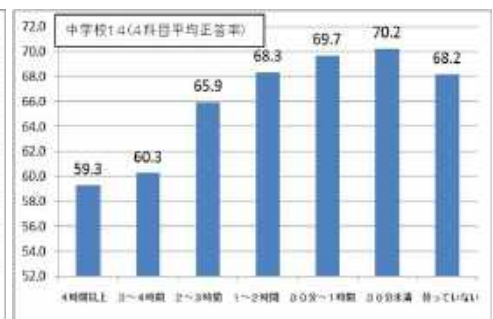
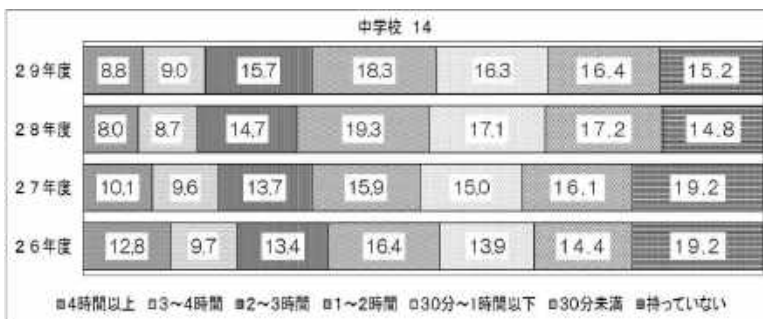


全国29年度(中)	11.4	10.0	16.2	21.4	24.3	16.6
-----------	------	------	------	------	------	------

○ 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）。



全国29年度(小)	3.8	3.2	5.0	8.5	12.2	30.5	36.7
-----------	-----	-----	-----	-----	------	------	------



全国29年度(中)	9.5	8.6	14.1	18.2	15.9	17.5	16.1
-----------	-----	-----	------	------	------	------	------

## ⑦ 規範意識

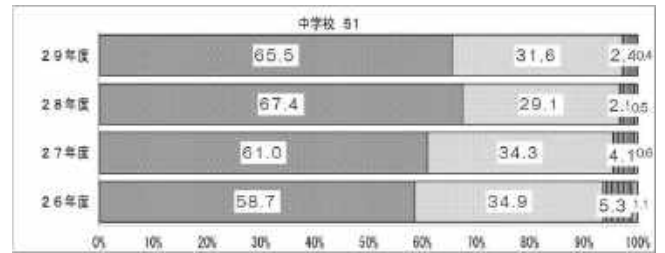
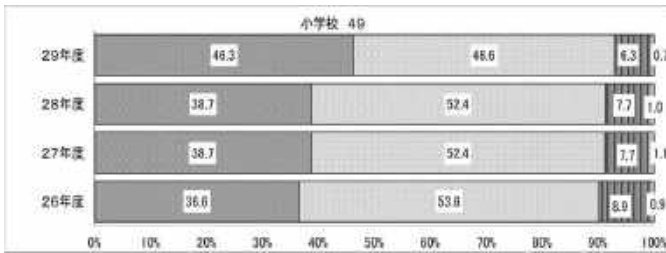
### ◇肯定的回答が、全国の結果と同程度または、上回っている設問項目

<小中とも>

- ・ 学校のきまり・規則を守っていますか。
- ・ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- ・ 友達との約束を守っていますか。
- ・ 人が困っているときは進んで助けていますか。
- ・ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

#### ○ 学校のきまり・規則を守っていますか。

**小** 92.9 92.6 **中** 97.1 95.2

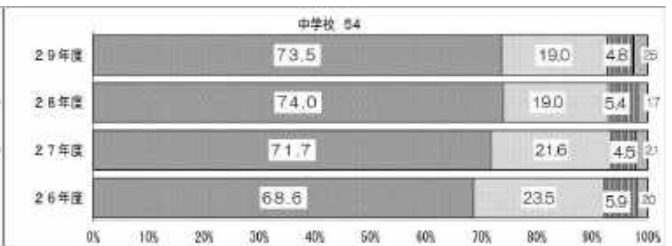
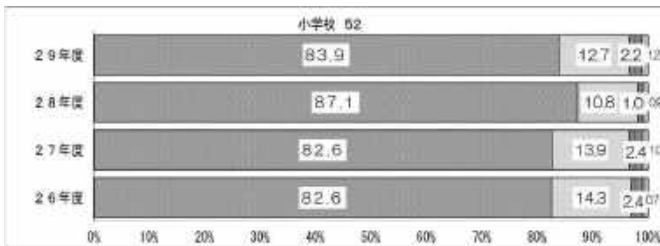


全国29年度(小) 46.4 46.2 6.3 1.0

全国29年度(中) 63.0 32.2 3.8 0.9

#### ○ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

**小** 96.6 96.1 **中** 92.5 92.8

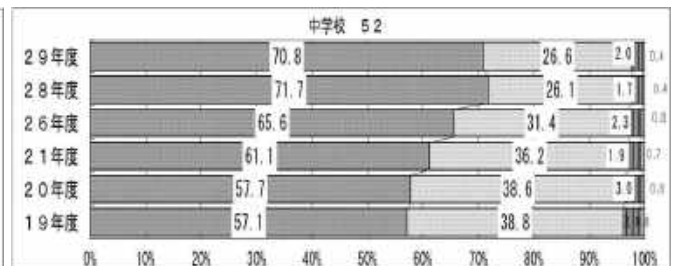
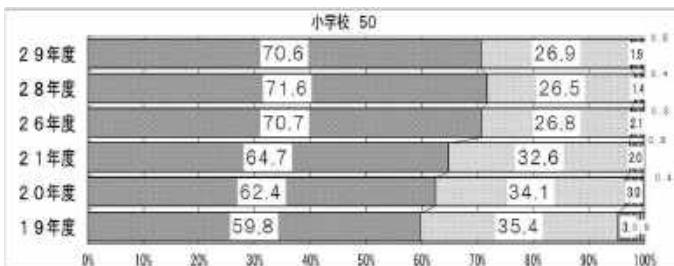


全国29年度(小) 81.2 14.9 2.7 1.1

全国29年度(中) 73.3 19.5 4.9 2.2

#### ○ 友達との約束を守っていますか。

**小** 97.5 97.2 **中** 97.4 97.4

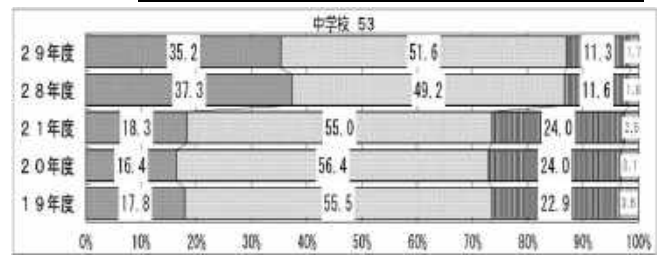
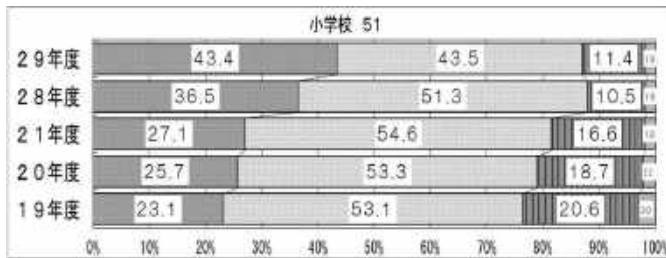


全国29年度(小) 69.4 27.8 2.1 0.6

全国29年度(中) 69.4 28.0 1.9 0.6

○ 人が困っているときは進んで助けていますか。

<b>小</b>	86.9	85.3	<b>中</b>	86.8	84.4
----------	------	------	----------	------	------

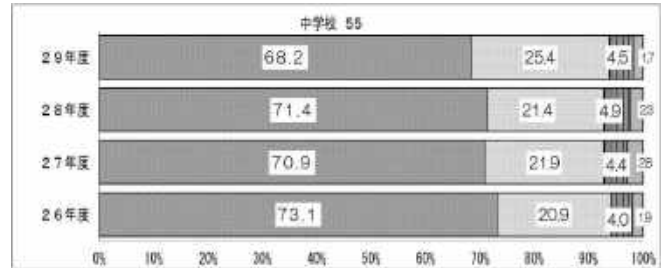
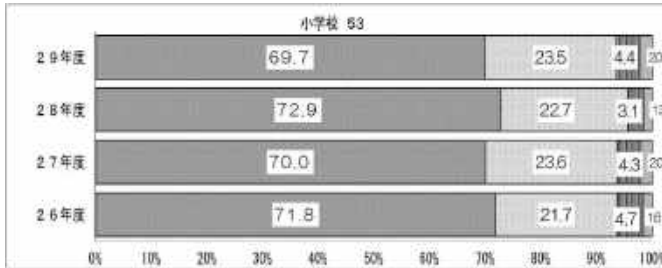


全国29年度(小)	38.5	46.8	12.3	2.3
-----------	------	------	------	-----

全国29年度(中)	35.6	48.8	13.0	2.4
-----------	------	------	------	-----

○ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

<b>小</b>	93.2	92.5	<b>中</b>	93.6	91.9
----------	------	------	----------	------	------



全国29年度(小)	68.0	24.5	5.1	2.2
-----------	------	------	-----	-----

全国29年度(中)	66.1	25.8	5.3	2.5
-----------	------	------	-----	-----

○ 携帯電話・スマートフォンの使い方について家の人と約束したことを守っている。

<b>小</b>	43.5	48.7	<b>中</b>	48.9	50.6
----------	------	------	----------	------	------



全国29年度(小)	30.9	17.8	2.5	0.7
-----------	------	------	-----	-----

全国29年度(中)	19.9	30.7	7.5	2.0
-----------	------	------	-----	-----

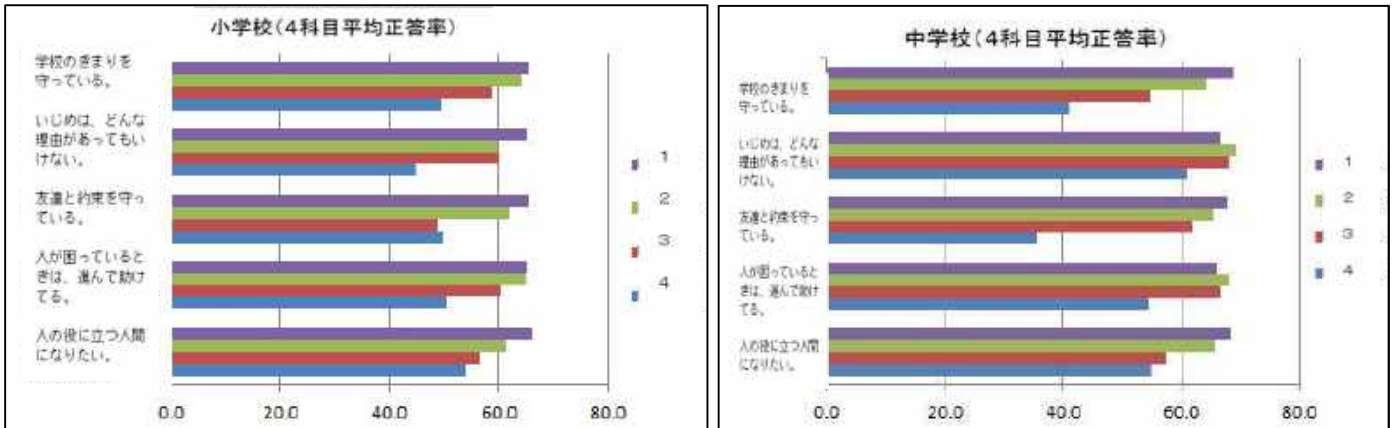
### <考察>

- 小中ともに、「学校のきまり・規則」に関する設問項目について肯定的回答をした割合は、年々増加しており、学校生活の中できまりや規則の大切さを認識し、守れている姿がある。
- 「友達との約束」に関する設問項目では、小中とも肯定回答の割合が高い。
- 小中とも肯定回答の割合は概ね増加傾向にあり、平成19年度と比較すると、小中学校ともに大きく伸びていることが分かります。今後とも発達段階に応じた指導を続けていくことが大切だと考えます。
- 「人が困っているときは進んで助ける」「人の役に立つ人間になりたい」という設問項目では、小中とも肯定的回答は全国平均よりも高い。今後も、自分の個性を大切にしながらも、社会の一員であることを自覚できる子どもたちを育てていく必要がある。
- 携帯電話・スマートフォンの使い方について、「家の人との約束を守っている」という回答が小中とも全国平均よりも低い。家庭と協力し、ルールを守る意識を高めていく必要がある。



※上記5項目の学力との相関

○ 肯定的回答をした児童・生徒の方が、平均正答率が高い傾向がある。「学校のきまりや規則を守る」「いじめをしない」といった項目も、学力と関連があると考える。



⑧ 自尊感情

◇肯定的回答が、全国の結果と同程度または、上回っている設問項目

<小中とも>

- ・ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか
- ・ 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。
- ・ 自分には、よいところがあると思いますか。
- ・ 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

<小のみ>

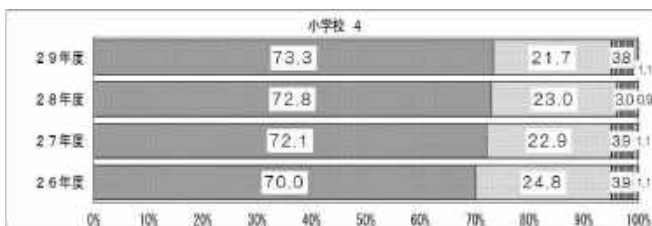
- ・ 家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか。
- ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか。

<中のみ>

- ・ 将来の夢や目標を持っていますか。

○ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。

<b>小</b>	95.0	94.8	<b>中</b>	96.1	94.7
----------	------	------	----------	------	------

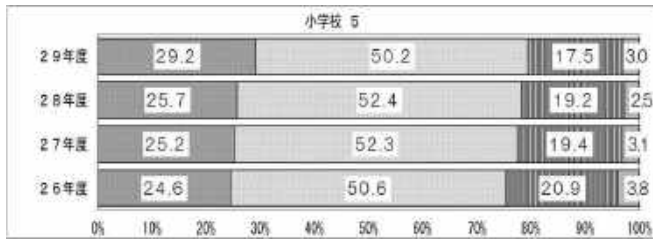


全国29年度(小)	73.4	21.4	4.0	1.2
-----------	------	------	-----	-----

全国29年度(中)	73.3	21.4	4.0	1.3
-----------	------	------	-----	-----

○ 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。

**小** 79.4 | 77.4 **中** 74.8 | 71.0



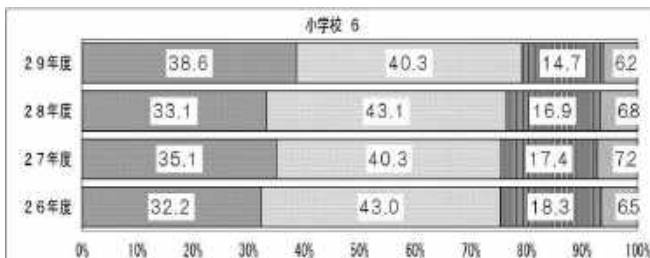
全国29年度(小) | 26.7 | 50.7 | 19.5 | 3.0



全国29年度(中) | 19.9 | 51.1 | 25.1 | 3.8

○ 自分には、よいところがあると思いますか。

**小** 78.9 | 77.9 **中** 75.2 | 70.7



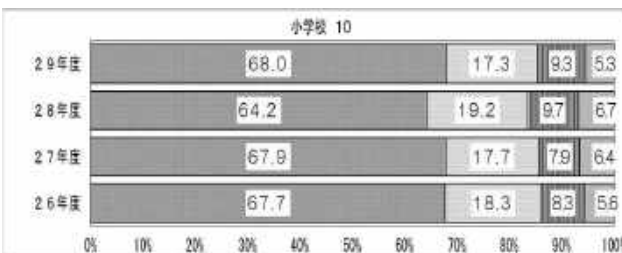
全国29年度(小) | 38.6 | 39.3 | 14.9 | 7.0



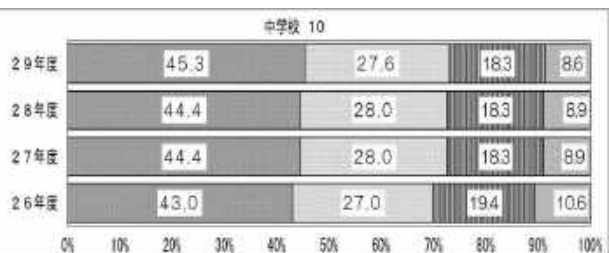
全国29年度(中) | 28.2 | 42.5 | 20.5 | 8.6

○ 将来の夢や目標を持っていますか。

**小** 85.3 | 85.9 **中** 72.9 | 70.5



全国29年度(小) | 70.0 | 15.9 | 8.1 | 5.9



全国29年度(中) | 45.3 | 25.2 | 18.3 | 11.0

### <考察>

○ 夢や目標の設問項目を除いて、達成感、挑戦心など肯定的回答の割合は全国平均を上回っている。

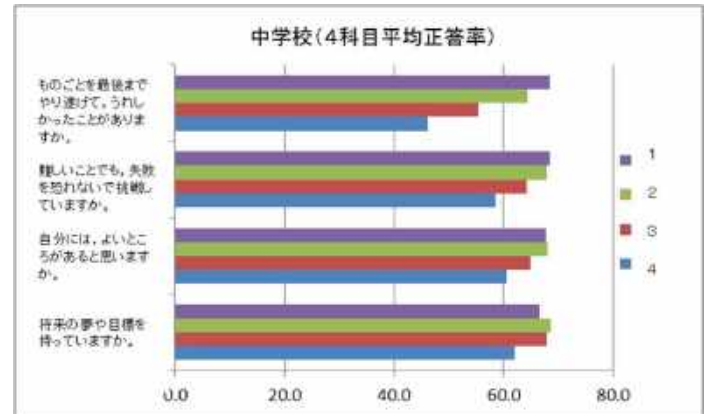
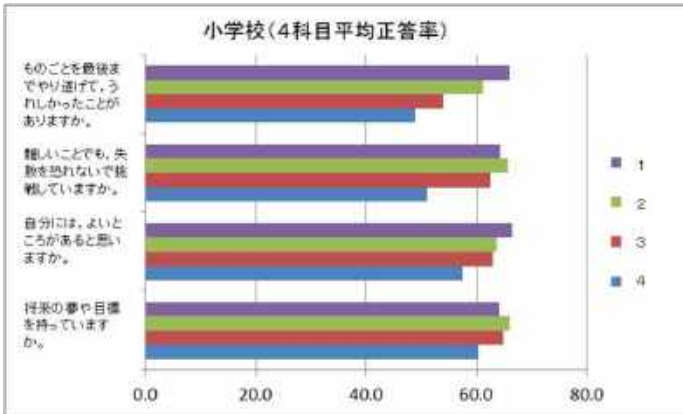
○ 自尊感情については、小中ともに、わずかではあるが、肯定回答の割合が増加傾向にある。また、全国と比較しても、やや高い割合を示している。

小学校においては、平成28年度まで肯定的回答がやや減少傾向であったが、平成29年度は増加した。中学校においては、肯定的回答の割合は、少しずつ増加している。

今後も、キャリア教育を充実させ、夢や目標を持って学ぶ子どもたちを育てていく必要がある。

※上記4項目の学力との相関

○ 肯定的回答をした児童・生徒の方が、平均正答率が高い傾向がある。「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」といった項目も、学力と関連していることがうかがえる。



⑨ 家庭・地域・社会との関わり

◇肯定的回答が、全国の結果と同程度または、上回っている設問項目

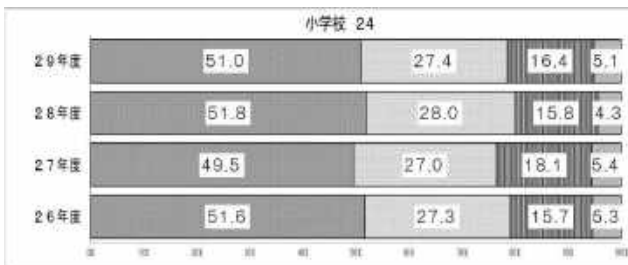
<小中とも>

- ・ 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

<小のみ>

- ・ 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。
- ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか。

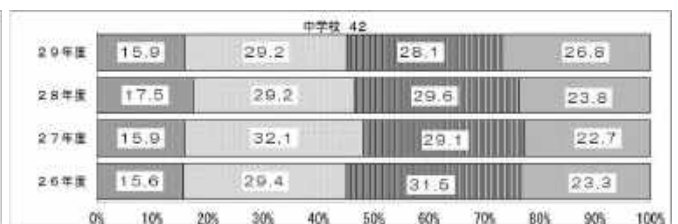
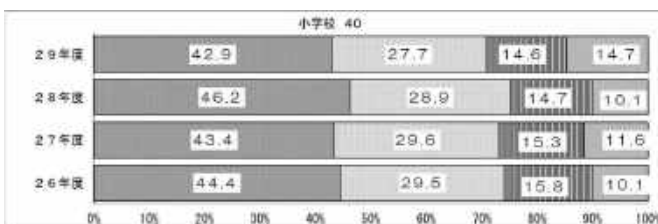
○ 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。 **小** 78.4 78.1 **中** 73.9 74.3



全国29年度(小) 50.6 27.5 16.6 5.1

全国29年度(中) 44.0 30.3 19.1 6.5

○ 今住んでいる地域の行事に参加していますか。 **小** 70.6 62.6 **中** 45.1 42.1



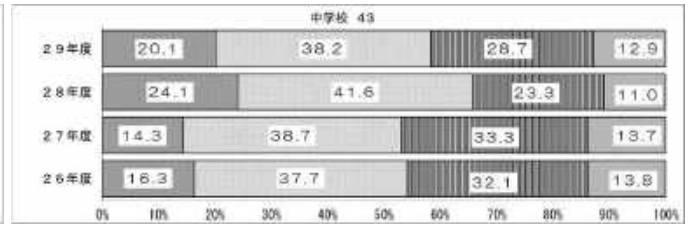
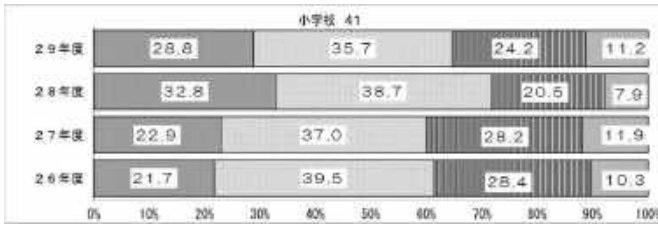
全国29年度(小) 35.0 27.6 19.0 18.4

全国29年度(中) 16.9 25.2 26.9 30.9



○ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。

<b>小</b>	64.5	63.9	<b>中</b>	58.3	59.2
----------	------	------	----------	------	------

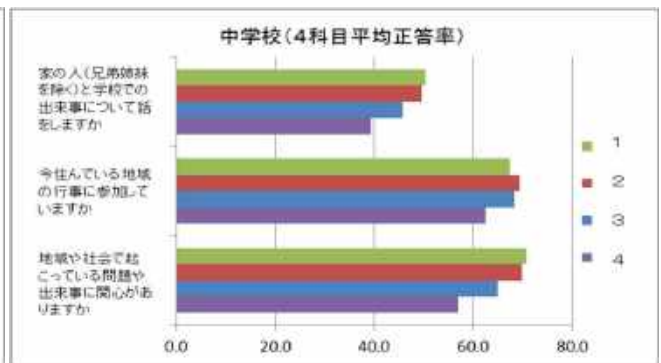
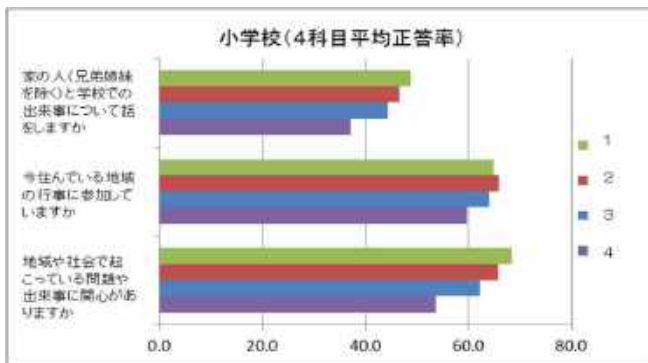


全国29年度(小)	28.6	35.3	23.6	12.5
-----------	------	------	------	------

全国29年度(中)	22.5	36.7	25.9	14.8
-----------	------	------	------	------

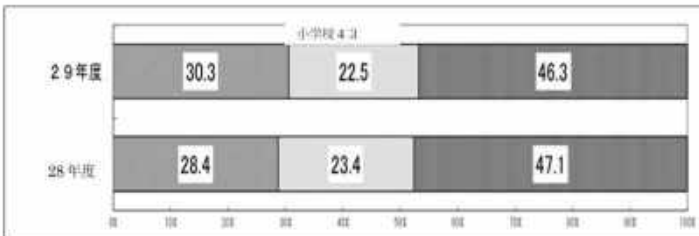
※ 上記3項目の学力との相関

○ 「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。」の項目について、肯定的な回答をした児童・生徒の割合が減少している。上記3項目についても、学力と相関関係がみられることから、今後も地域や社会とともに生きる子どもを育成していく必要がある。



○ 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。

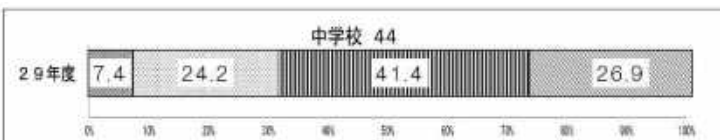
<b>小</b>	52.8	59.3
----------	------	------



全国29年度(小)	35.4	23.9	38.9	1.7
-----------	------	------	------	-----

○ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。

<b>中</b>	31.6	33.4
----------	------	------



全国29年度(中)	9.8	23.6	38.9	27.6
-----------	-----	------	------	------

<考察>

○ 小学校や中学校において、地域や社会をさらによくしていこうとする心情を育み、実践意欲を向上させていく必要がある。

## ⑩ 学校生活等

### ◇肯定的回答が、全国の結果と同程度または、上回っている設問項目

<小中とも>

- ・ 学校に行くのは楽しいと思いますか。
- ・ 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。
- ・ 学校で、好きな授業がありますか。
- ・ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- ・ 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか。

<小のみ>

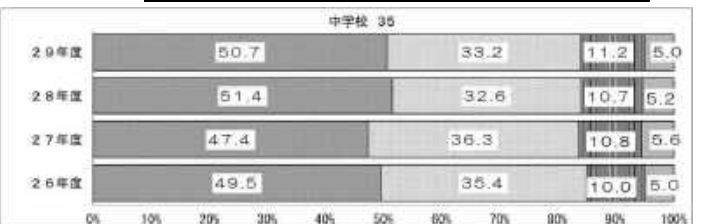
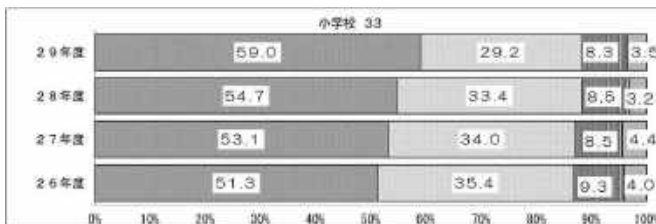
- ・ 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。
- ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか。

<中のみ>

- ・ 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。
- ・ 学校の部活動に参加していますか。

○ 学校に行くのは楽しいと思いますか。

**小** 88.2 86.3 **中** 83.9 80.9

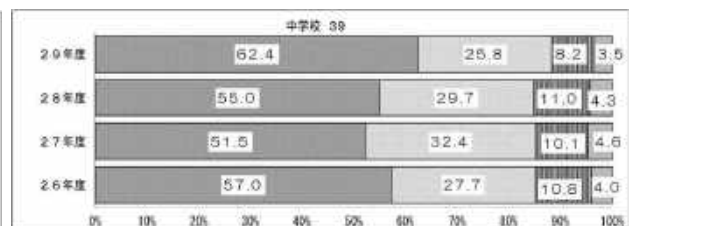
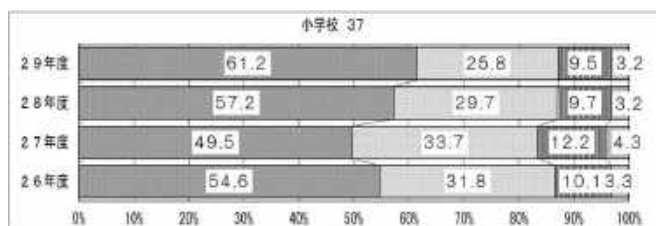


全国29年度(小) 55.4 30.9 9.2 4.3

全国29年度(中) 47.3 33.6 12.2 6.9

○ 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。

**小** 87.0 87.8 **中** 88.2 86.0

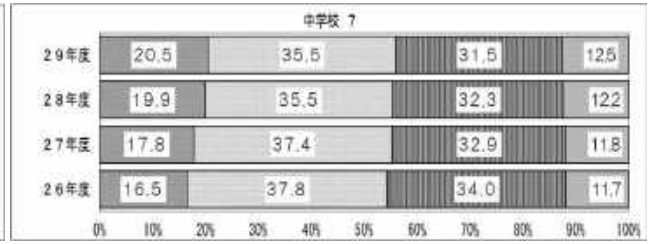
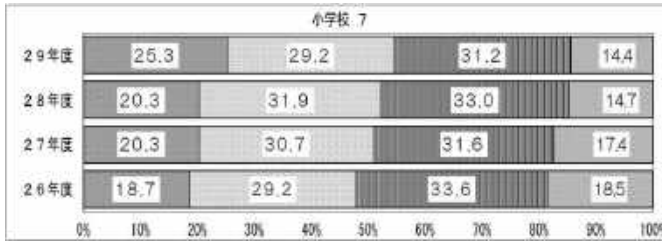


全国29年度(小) 60.8 27.0 8.8 3.3

全国29年度(中) 61.0 25.0 9.0 4.9

○ 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。

<b>小</b>	54.5	52.2	<b>中</b>	56.0	50.5
----------	------	------	----------	------	------

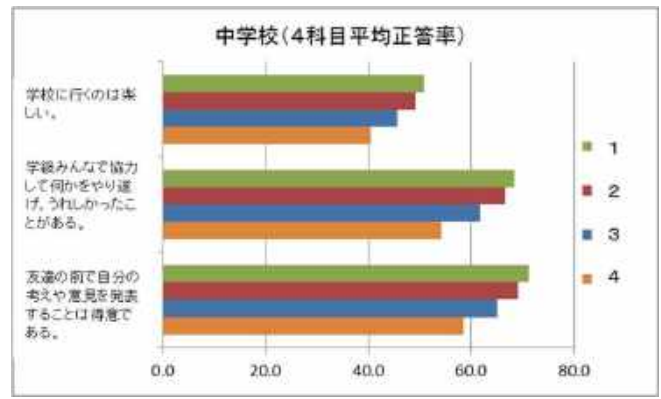
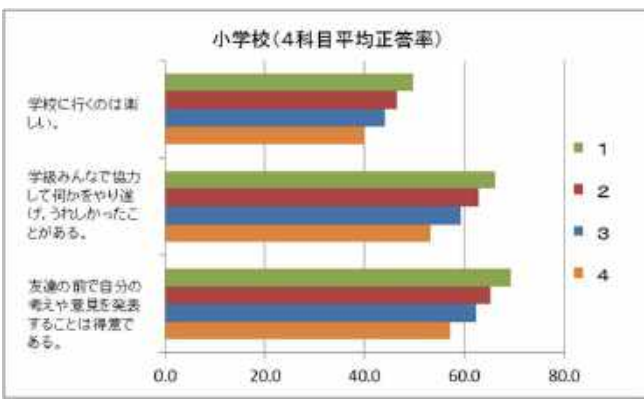


全国29年度(小)	21.6	30.6	32.3	15.4
-----------	------	------	------	------

全国29年度(中)	17.6	32.9	34.4	14.9
-----------	------	------	------	------

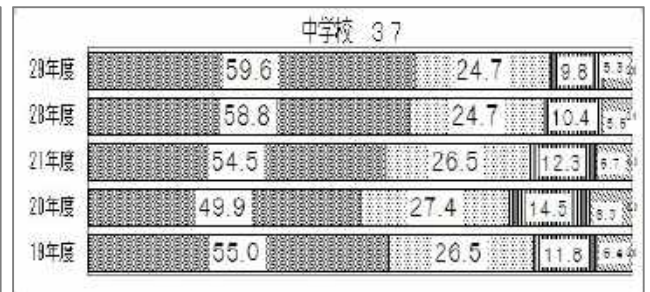
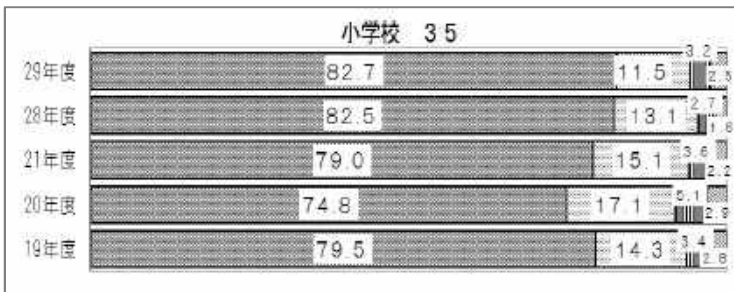
※ 上記3項目の学力との相関

○ 上記3項目についても、学力と高い相関関係がある。「学校に行くのが楽しい」と思えるといった前向きな気持ちが、学力の定着にも結び付いていることがうかがえる。



○ 学校で、好きな授業がありますか

<b>小</b>	94.2	93.0	<b>中</b>	84.3	79.2
----------	------	------	----------	------	------



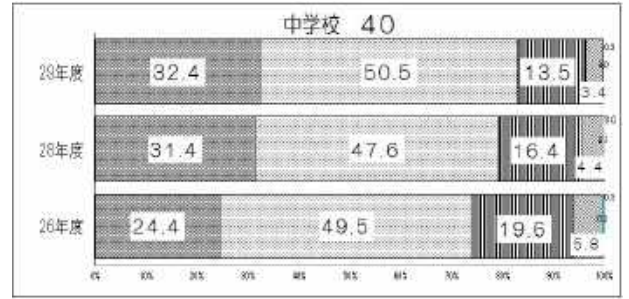
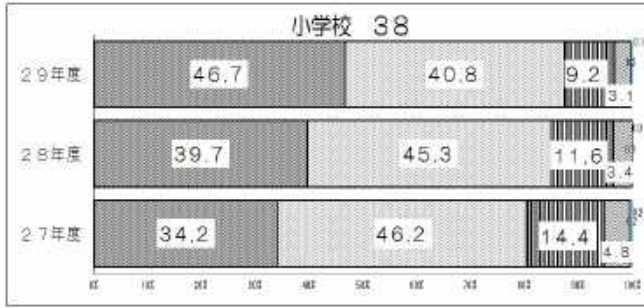
全国29年度(小)	78.4	14.6	4.3	2.6
-----------	------	------	-----	-----

全国29年度(中)	53.5	25.7	12.5	8.1
-----------	------	------	------	-----

◇ 先生と児童生徒の関係性

○ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

<b>小</b>	87.5	86.0	<b>中</b>	82.9	80.4
----------	------	------	----------	------	------

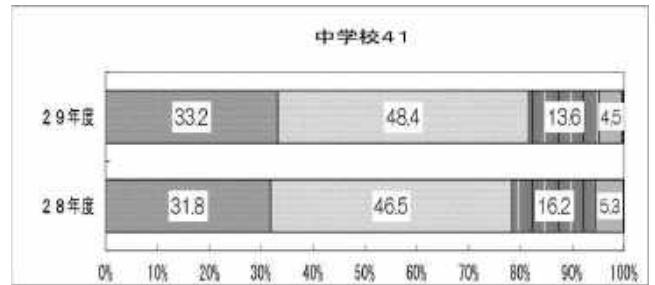
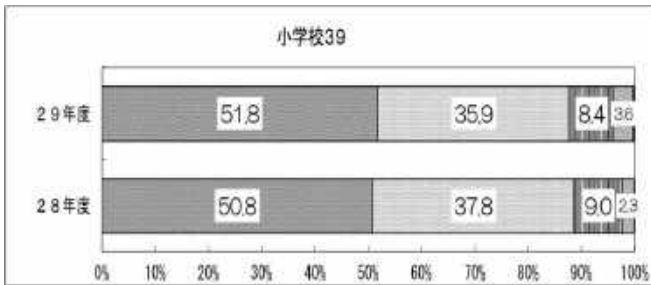


全国29年度(小)	47.3	38.7	10.3	3.4
-----------	------	------	------	-----

全国29年度(中)	34.5	45.9	14.5	4.9
-----------	------	------	------	-----

○ 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか。

<b>小</b>	87.7	85.1	<b>中</b>	81.6	75.5
----------	------	------	----------	------	------



全国29年度(小)	50.5	34.6	10.3	4.3
-----------	------	------	------	-----

全国29年度(中)	30.1	45.4	18.0	6.2
-----------	------	------	------	-----

○ 学校の部活動に参加していますか。

<b>中</b>	95.1	86.6
----------	------	------



全国29年度(中)	66.7	19.9	1.0	12.2
-----------	------	------	-----	------

<考察>

- 小中とも「学校に行くのは楽しい」「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかった」と感じている児童・生徒が多い。  
また、小中とも「好きな授業がある」と肯定的回答をしている児童・生徒が多い。
- 小中とも「友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意だ」と感じる児童・生徒が多いことから、言語活動に関わる授業づくりや安心感のある学級づくりが進んでいる。
- 小中とも「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。」「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。」と肯定的に捉えている児童・生徒が多いことから、先生と子どもたちの関係性がよいと考えられる。
- 本市の中学校では、学校の部活動に参加している生徒の割合が多い。



## (2) 学力向上に関する全市的な取り組み状況

四日市市の全小中学校では、子どもたちの学力向上のため、平成25年1月から「学力向上のための4つの取り組み」を実践してきたことで、一定の成果が見られる。

### 【取り組み1】全国学力・学習状況調査問題の活用

自校の結果分析したり、校内研修会で全教職員が調査問題を解いたりするなど、学校全体で教育活動を改善するための活用が進み、結果の改善に結びついている。

※もっとも肯定的な回答をした割合

番号	調査項目	種別	本市	全国
55	平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか(指導計画等への反映)	小	71.1	53.7
		中	50.0	43.5
56	平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	小	55.3	44.4
		中	50.0	35.4
59	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	小	78.9	34.4
		中	59.1	27.6

### 【取り組み2】全国学力・学習状況調査の趣旨等を踏まえた授業改善

新学習指導要領の方向性を見据えて、「言語能力」や「知識・技能を活用する力」の育成を進めている。そのため、小中学校ともに、肯定回答の割合は高い結果となっている。

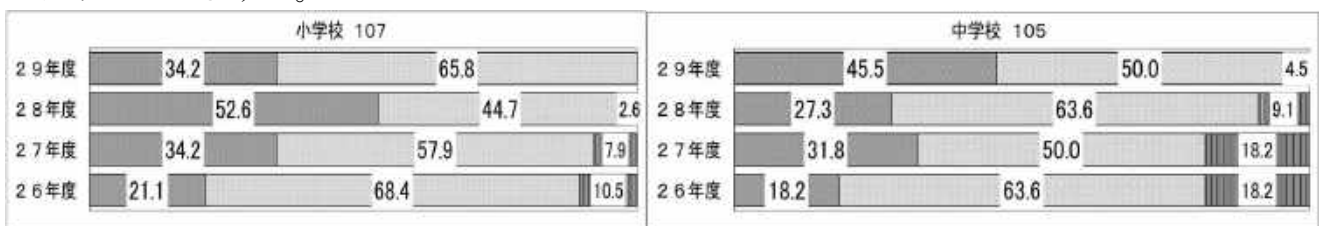
今後は、「言語活動を行っていたか」という枠を超えて、言語活動の質にこだわることで、子どもたちの学力の向上につなげていく必要がある。

- 各教科等の指導のねらいを明確にしたうえで、言語活動を適切に位置づけましたか。



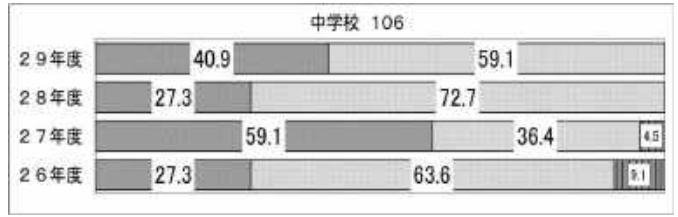
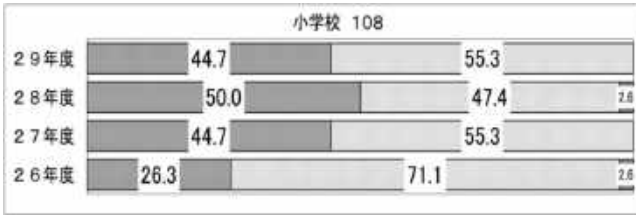
全国29年度(小)	30.0	63.3	6.6	0.0	全国29年度(中)	25.8	64.7	9.5	0.1
-----------	------	------	-----	-----	-----------	------	------	-----	-----

- 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか。



全国29年度(小)	37.7	53.4	8.8	0.1	全国29年度(中)	24.9	57.6	17.2	0.2
-----------	------	------	-----	-----	-----------	------	------	------	-----

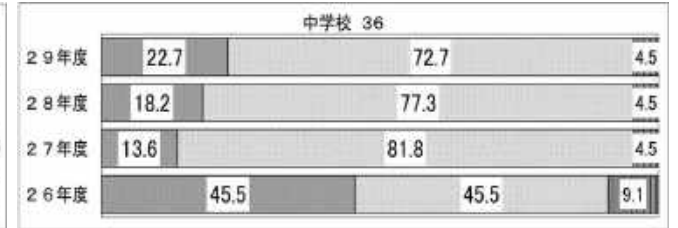
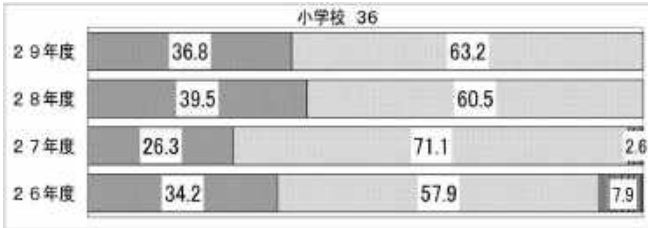
○ 言語活動について、国語科だけでなく、各教科、道徳、外国語活動（小のみ）、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる。



全国29年度(小)	37.1	55.2	7.4	0.1
-----------	------	------	-----	-----

全国29年度(中)	32.5	56.3	11.0	0.1
-----------	------	------	------	-----

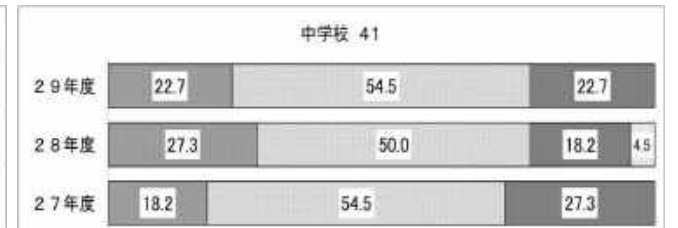
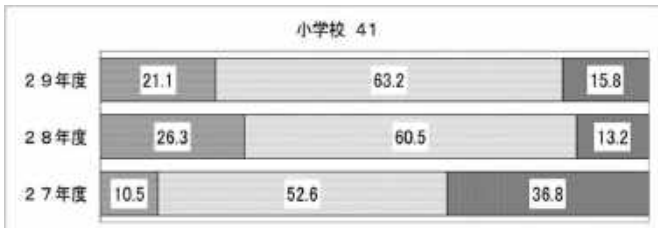
○ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか。



全国29年度(小)	34.9	60.6	4.3	0.0
-----------	------	------	-----	-----

全国29年度(中)	28.2	65.7	6.0	0.0
-----------	------	------	-----	-----

○ 授業において、児童・生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか。



全国29年度(小)	22.4	59.9	17.4	0.2
-----------	------	------	------	-----

全国29年度(中)	18.8	56.3	24.3	0.5
-----------	------	------	------	-----

### 【取り組み3】学習習慣の確立と学習補充の充実

全国と比較すると、小学校においては家庭学習、中学校においては補充学習の取り組みが充実している。

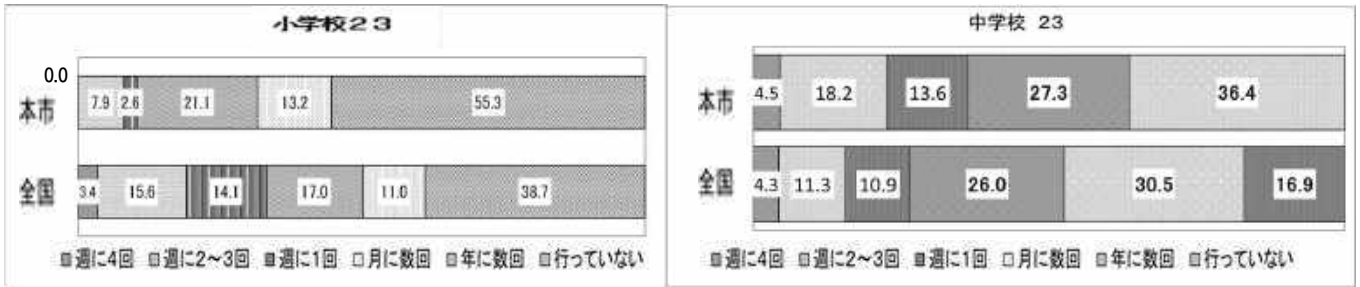
#### <家庭学習の定着>

※もっとも肯定的な回答をした割合

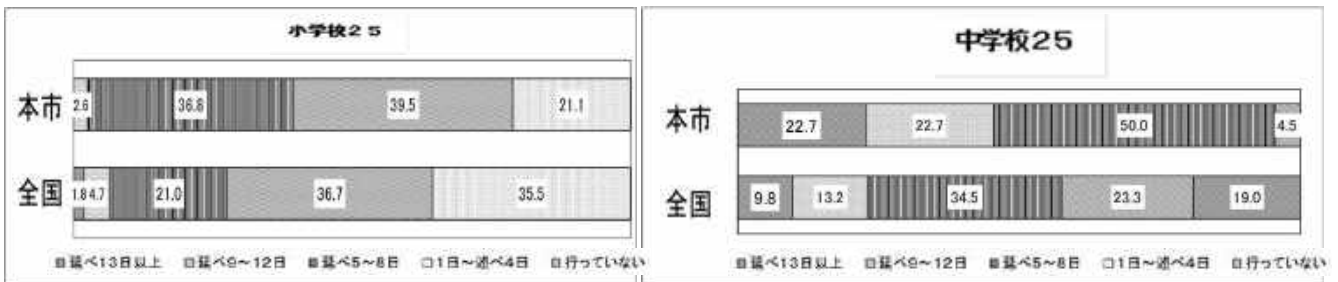
番号	調査項目	種別	本市	全国
94	保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか	小	63.2	55.4
92		中	18.2	35.0
95	家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか	小	71.1	45.6
93		中	36.4	33.6
96	家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか	小	44.7	27.3
94		中	18.2	15.7
97	家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか	小	60.5	41.2
95		中	31.8	30.6

### <補充学習の充実>

- 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか。



- 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか（実施した日数の累計）。



### <保護者・地域への働きかけ>

※もっとも肯定的な回答をした割合

番号	調査項目	種別	本市	全国
57	平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)	小	47.4	33.2
		中	45.5	31.2
58	平成28年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	小	26.3	24.3
		中	31.8	20.0

### 【取り組み4】 継続的な学びへの取り組み

どの項目も肯定回答の割合が、全国より大きく上回っている。平成18年度から全中学校区で学びの一体化として幼保小中が連携し、「確かな学力」「健やかな成長」をめざす取り組みを継続的に行ってきた成果である。

※もっとも肯定的な回答をした割合

番号	調査項目	種別	本市	全国
76	前年度までに、近隣等の小中学校と、教育目標を共有する取組を行いましたか	小	71.1	22.0
75		中	81.8	28.8
77	前年度までに、近隣等の小中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	小	76.3	24.9
76		中	81.8	34.9
78	前年度までに、近隣等の小中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	小	57.9	15.2
77		中	63.6	20.7
79	平成28年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小中学校と成果や課題を共有しましたか	小	55.3	15.9
78		中	63.6	19.8

### (3) 学校質問紙の4年間の経年変化と回答状況

※ 本項では、右下の小・中の表において**肯定回答のみ**を取り扱い、全国の結果と比較する。 肯定回答：1よくあてはまるを回答したもの

<b>小</b>		<b>中</b>	
----------	--	----------	--

#### ① 指導方法等

##### ◇肯定回答が、全国の結果を上回っている設問項目

<小中とも>

- ・ 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか。
- ・ 学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか。

<小のみ>

- ・ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか。
- ・ 道徳の時間において、児童・生徒自らが考え、話し合う指導をしましたか。
- ・ 自分で調べたことや考えたことをわかりやすく文章に書かせる指導をしましたか。

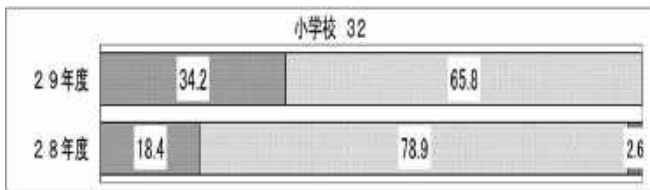
##### ◆肯定回答が、全国の結果を下回っている設問項目

<小中とも>

- ・ 総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか。
- ・ 資料を使って発表ができるように指導しましたか。

○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか。

<b>小</b>	34.2	22.7	<b>中</b>	18.2	21.3
----------	------	------	----------	------	------

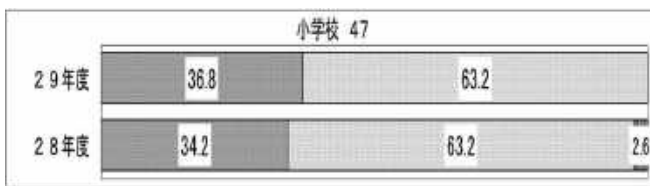


全国29年度(小)	22.7	68.8	8.3	0.0
-----------	------	------	-----	-----

全国29年度(中)	21.3	68.3	10.3	0.1
-----------	------	------	------	-----

○ 道徳の時間において、児童・生徒自らが考え、話し合う指導をしましたか。

<b>小</b>	36.8	30.9	<b>中</b>	18.2	30.3
----------	------	------	----------	------	------



全国29年度(小)	30.9	59.7	9.1	0.1
-----------	------	------	-----	-----

全国29年度(中)	30.3	59.5	9.9	0.1
-----------	------	------	-----	-----



○ 学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか。

**小** 71.1 57.1 **中** 72.7 45.1

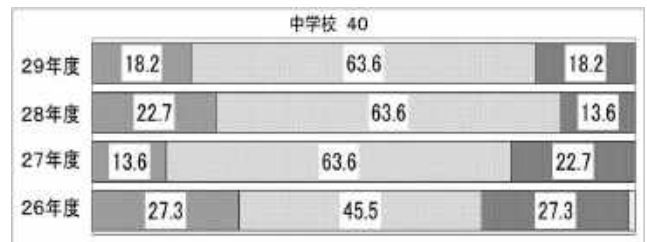


全国29年度(小) 57.1 40.3 2.5 0.1

全国29年度(中) 45.1 49.5 5.1 0.2

○ 総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか。

**小** 23.7 26.7 **中** 18.2 29.9

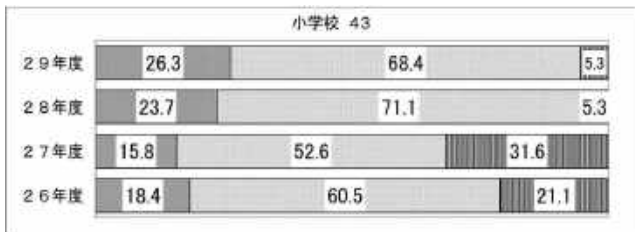


全国29年度(小) 26.7 58.6 14.4 0.1

全国29年度(中) 29.9 53.8 16.0 0.2

○ 資料を使って発表ができるように指導しましたか。

**小** 26.3 29.6 **中** 13.6 22.1

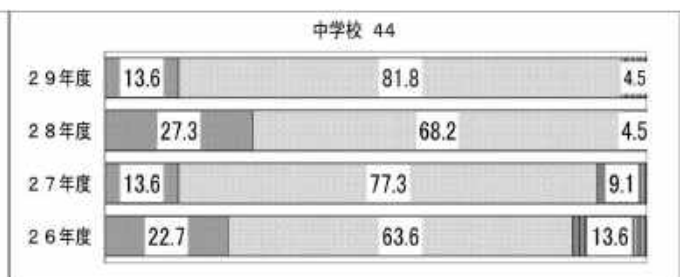
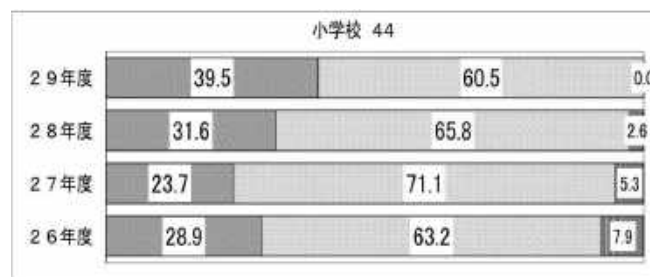


全国29年度(小) 29.6 61.6 8.7 0.0

全国29年度(中) 22.1 63.4 14.3 0.2

○ 自分で調べたことや考えたことをわかりやすく文章に書かせる指導をしましたか。

**小** 39.5 31.2 **中** 13.6 25.6

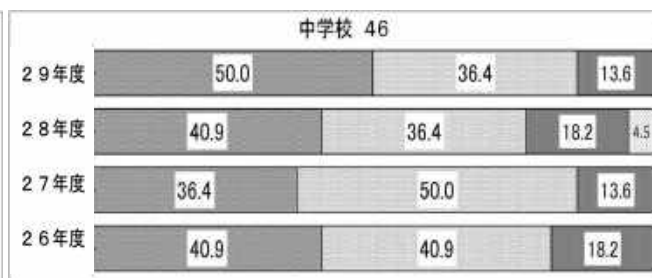
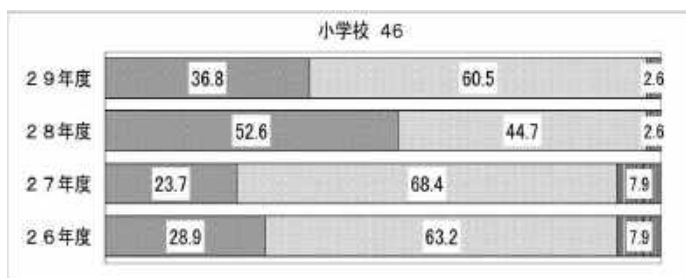


全国29年度(小) 31.2 63.5 5.2 0.0

全国29年度(中) 25.6 66.5 7.9 0.0

- 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか。

<b>小</b>	36.8	36.0	<b>中</b>	50.0	31.2
----------	------	------	----------	------	------



全国29年度(小)	36.0	55.6	8.2	0.2
-----------	------	------	-----	-----

全国29年度(中)	31.2	55.8	12.7	0.2
-----------	------	------	------	-----

## <考察>

- 「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか」については、平成28年度の全国との比較では、小中とも肯定回答の割合は低くなっていたが、平成29年度は小学校で全国平均を上回った。
- 「道徳の時間において、児童・生徒自らが考え、話し合う指導をしましたか」については、小中学校ともに全国平均より肯定回答の割合が高く、考えて、議論する道徳の授業を進めている。
- 「学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか」については、平成27年度以降小学校で改善が進んでいる。
- 「総合的な学習の時間」における設問項目は、児童生徒質問紙でも課題となっている。肯定的回答の割合までも含めると小学校は改善傾向、中学校はやや波がみられる。
- 「学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか」の設問項目については、中学校において「よくできた」と答えた割合が年々増加している。

## <今後の取り組み>

- 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫を進める。
- 主体的・対話的で深い学びにつながる授業づくりを行う。
- 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを授業のみならず、学校教育活動を通して設定し、協働的な経験積ませたり、達成感・困難感を味わわせる。

## ② 国語の指導方法

### ◇肯定回答が、全国の結果を上回っている設問項目

<小中とも>

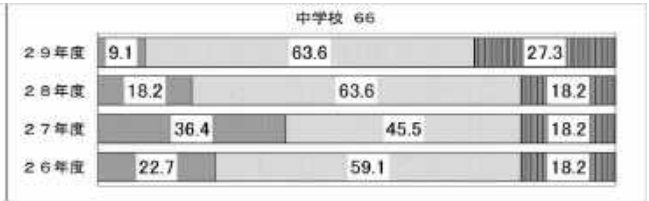
- ・ 漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか。

<小のみ>

- ・ 目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか。
- ・ 書く習慣を付ける授業を行いましたか。
- ・ 様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか。

○ 目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか。

<b>小</b>	44.7	24.5	<b>中</b>	9.1	24.3
----------	------	------	----------	-----	------

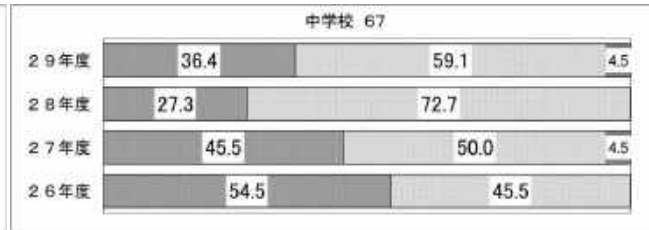
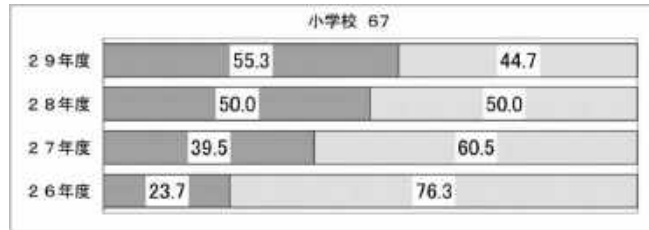


全国29年度(小)	24.5	67.7	7.6	0.1
-----------	------	------	-----	-----

全国29年度(中)	24.3	63.2	12.4	0.1
-----------	------	------	------	-----

○ 書く習慣を付ける授業を行いましたか。

<b>小</b>	55.3	33.1	<b>中</b>	36.4	41.3
----------	------	------	----------	------	------

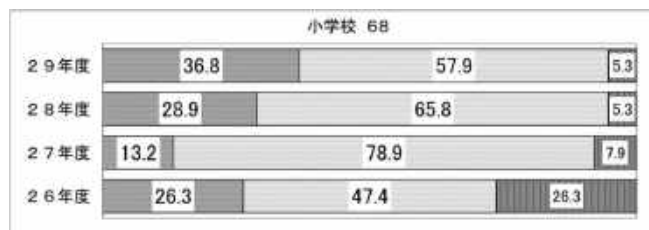


全国29年度(小)	33.1	60.3	6.4	0.1
-----------	------	------	-----	-----

全国29年度(中)	41.3	54.4	4.2	0.0
-----------	------	------	-----	-----

○ 様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか。

<b>小</b>	36.8	24.0	<b>中</b>	18.2	28.3
----------	------	------	----------	------	------

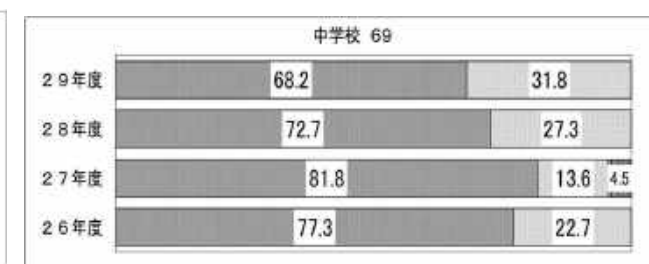
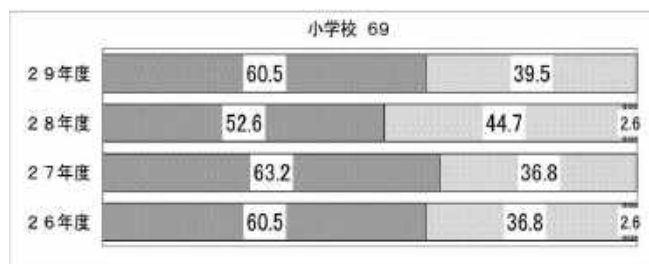


全国29年度(小)	24.0	64.9	10.9	0.1
-----------	------	------	------	-----

全国29年度(中)	28.3	62.3	9.3	0.1
-----------	------	------	-----	-----

○ 漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか。

<b>小</b>	60.5	52.9	<b>中</b>	68.2	60.2
----------	------	------	----------	------	------



全国29年度(小)	52.9	45.2	1.7	0.0
-----------	------	------	-----	-----

全国29年度(中)	60.2	38.2	1.5	0.1
-----------	------	------	-----	-----

### <考察>

- 国語の指導方法について、肯定回答のみを見ると、小学校において、年々増加傾向であるが、中学校は年々減少傾向である。
- 漢字・語句の基礎的・基本的な事項を定着させる学習は小中とも全国を上回っている。

### ③ 算数・数学の指導方法

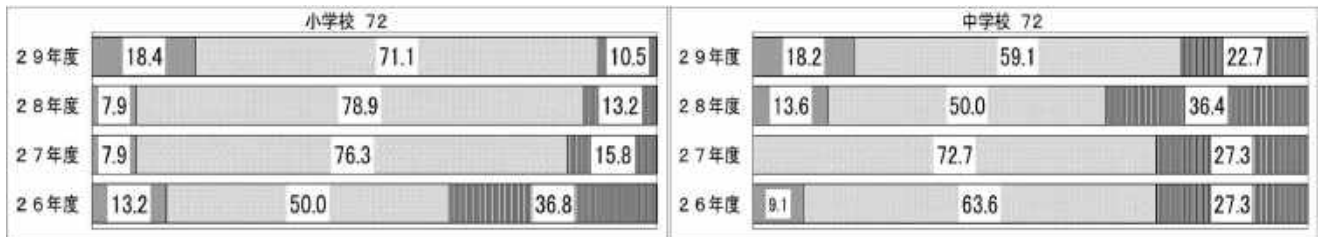
#### ◇肯定回答が、全国の結果を上回っている設問項目

<小中とも>

- ・ 実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか。
- ・ 計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか。

○ 実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか。

<b>小</b>	18.4	11.5	<b>中</b>	18.2	10.6
----------	------	------	----------	------	------



全国29年度(小)	11.5	63.7	24.3	0.3	全国29年度(中)	10.6	60.3	28.3	0.7
-----------	------	------	------	-----	-----------	------	------	------	-----

○ 計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか。

<b>小</b>	73.7	53.8	<b>中</b>	63.6	54.2
----------	------	------	----------	------	------



全国29年度(小)	58.8	38.7	2.3	0.0	全国29年度(中)	54.2	42.3	3.3	0.1
-----------	------	------	-----	-----	-----------	------	------	-----	-----

#### <考察>

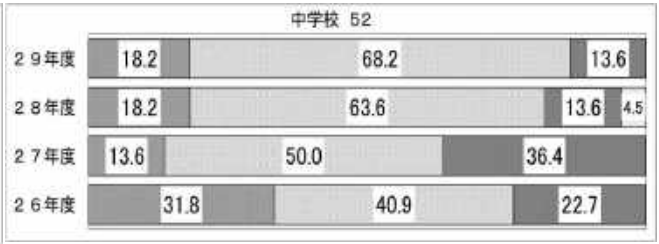
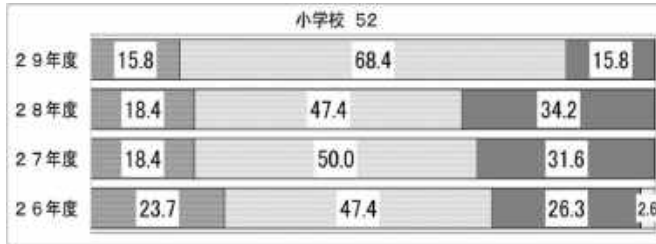
- 算数・数学の指導方法における設問項目では、小中ともに積極的な肯定回答の割合が全国より高い。
- 計算問題などの反復練習の基礎的・基本的な事項を定着させる学習は小中とも全国を上回っている。

### ④ コンピュータ等を活用した教育

- 「コンピュータ等の情報通信技術を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか」の肯定的回答（1と2）の割合は、平成28年度と比較すると増加している。
- 国語と算数・数学の活用状況を比較すると、算数・数学の方が活用されている。

○ コンピュータ等の情報通信技術を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか。

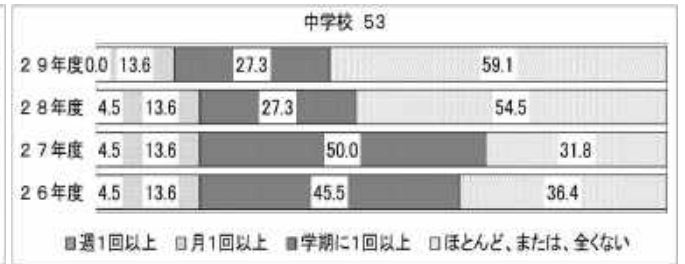
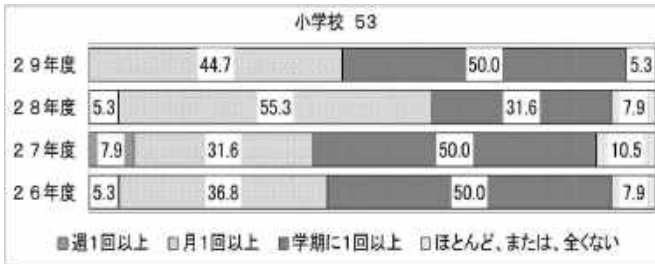
**小** 15.8 18.9 **中** 18.2 14.2



全国29年度(小) 18.9 52.7 27.0 1.3

全国29年度(中) 14.2 49.6 34.5 1.7

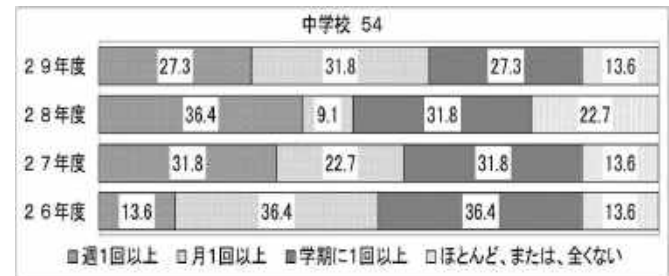
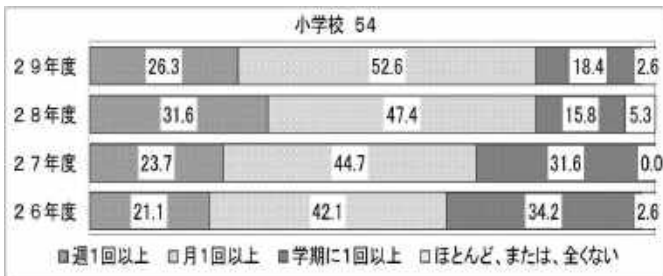
○ 国語の授業において、コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業を行いましたか。



全国29年度(小) 17.4 27.5 40.6 14.4

全国29年度(中) 8.7 16.6 39.3 35.4

○ 算数・数学の授業において、コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業を行いましたか。



全国29年度(小) 29.0 26.4 28.9 15.7

全国29年度(中) 18.0 20.8 32.7 28.5

### ⑤ 規範意識

#### ◇肯定回答が、全国の結果を上回っている設問項目

<小中とも>

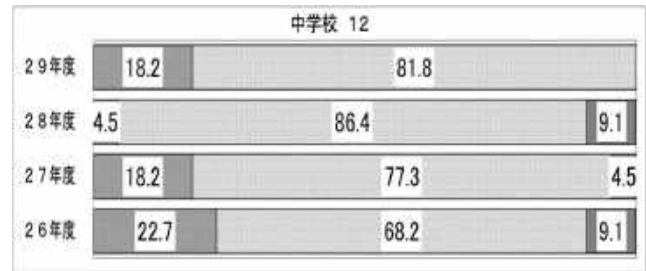
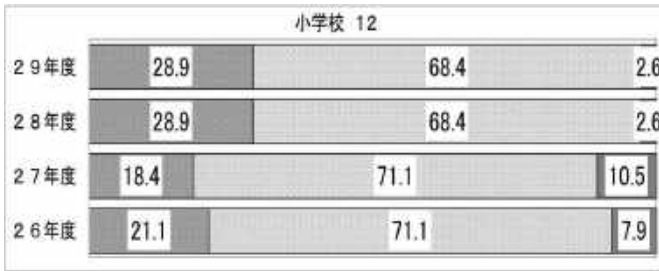
- ・ 児童・生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか。

<小のみ>

- ・ 児童・生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか。

○ 調査対象学年の児童・生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか

<b>小</b>	28.9	26.5	<b>中</b>	18.2	24.2
----------	------	------	----------	------	------

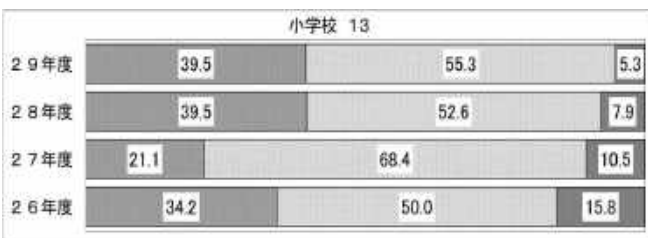


全国29年度(小)	26.5	67.7	5.7	0.1
-----------	------	------	-----	-----

全国29年度(中)	24.2	67.5	8.2	0.2
-----------	------	------	-----	-----

○ 調査対象学年の児童・生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか。

<b>小</b>	39.5	39.3	<b>中</b>	63.6	53.0
----------	------	------	----------	------	------



全国29年度(小)	39.3	51.4	8.7	0.5
-----------	------	------	-----	-----

全国29年度(中)	53.0	41.6	5.0	0.4
-----------	------	------	-----	-----

## ⑥ 地域人材の活用

○ 小中とも、地域人材を積極的に活用した教育活動については、全国より進んでいる。

○ 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか。

<b>小</b>	42.1	36.7	<b>中</b>	50.0	22.7
----------	------	------	----------	------	------



全国29年度(小)	36.7	47.5	13.4	2.4
-----------	------	------	------	-----

全国29年度(中)	22.7	46.2	22.7	8.4
-----------	------	------	------	-----

## ⑦ カリキュラムマネジメント

- 小学校においては、全国と比較すると、「指導計画の作成に当たって、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育内容を組織的に配列していますか」の項目を除いて、肯定回答の割合が低くなっている。
- 中学校においては、全国と比較すると、「指導計画について、知識・技能の活用に重点を置いて作成していますか」「指導計画について、言語活動を重点に置いて作成していますか」の項目のみ、肯定回答の割合が低くなっている。

※もっとも肯定的な回答をした割合

番号	調査項目	種別	本市	全国
26	指導計画について、知識・技能の活用に重点を置いて作成していますか	小	10.5	19.0
		中	13.6	19.4
27	指導計画について、言語活動に重点を置いて作成していますか	小	26.3	30.6
		中	13.6	24.7
28	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	小	23.7	20.2
		中	31.8	16.0
29	教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	小	15.8	24.9
		中	31.8	21.2
30	生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	小	26.3	28.9
		中	31.8	25.3
31	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	小	28.9	34.7
		中	27.3	17.7

## 5 今後の取り組みの重点

### 主として学校において

※「本市における学力向上の4つの取り組み」を基盤とする。

#### 1 学力・学習状況調査の結果や趣旨等を踏まえた授業改善

##### (1) 学力調査に関わって

- 全教職員が問題を解くことで、出題のねらい、指導事項との関連等を把握するとともに、調査実施後、児童・生徒の解答類型から、つまづきを把握・分析して指導の重点を明確にする。
- 児童・生徒の発達段階に合わせて自身の課題を把握させ、繰り返し本調査問題を活用して課題の改善を図る。
- 全国の結果との比較や、経年での変化を把握することで、学校としての強み・弱みを明らかにし、全校及び学年で、学力向上に向けた取り組みを設定する。



##### (2) 学習状況調査に関わって

- 学習状況調査の結果を分析し、学校での学力向上に向けた取り組みと照らし合わせることで、指導の効果を検討・改善する。
- 学校質問紙を併せて分析することで、児童・生徒と指導者の意識のズレを把握し、指導改善につなげる。

##### (3) 「学びの一体化」と関わって

- 本調査で得られた強み・弱みについて、中学校区で共通理解を図り、発達段階に応じた指導方法等の連携を図る。
- 幼・こ・保から小、小から中の引き継ぎの際には、幼児・児童・生徒の課題や今後の取り組みの重点を確認し、指導に活かす。
- 子どもの実態を把握し、家庭学習の定着と補充学習の充実に取り組む。
- 保護者への働きかけの充実を図る。
  - ・ 家庭学習の定着、自主学習ノートによる定着、シラバスやHPを活用した家庭への啓発 等
  - ・ 補充学習の充実、長期休業及び放課後等の補充学習、「全体」と「個別」の補充学習の検討 等
  - ・ 課題について調べ自分の考えをまとめるなど、知識・技能の活用を目指す宿題 等
- 学びの空白期間となる春季休業に着目し、継続的な学びを目指した取り組みを検討し、工夫する。
- ノートの活用について、発達段階に応じて指導する。

#### 2 「問題解決能力向上のための授業づくりガイドブック2」を活用した授業改善

- 全教科において、教科の本質を踏まえ、指導内容を明確にして授業を行う。
- 児童生徒の興味関心や既存の経験等を踏まえ、児童・生徒の問題意識や解決しようとする意欲を喚起させる問題を設定する。【めあての提示】
- 問題意識や解決しようとする意欲を大切にしながら、解決するための糸口がつかめるように、問題に対するアプローチの仕方を支援する。【問題解決の見通し】
- 児童生徒の問題意識に合わせて、自力解決をしたり、互いの考えを交流したりすることができるようにする。【問題の解決】
- 授業のねらいや学習活動を踏まえ、児童・生徒自身が「何を学んだのか」、「何ができるようになったのか」を実感できる振り返りを行う。【授業の振り返り】

#### 3 教科の特質を踏まえた言語活動を取り入れた授業の充実

- 特に国語科においては、基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を探究することのできる言語能力を身に付けることができるよう、子どもの実態に応じた様々な言語活動を工夫する。
- 言語活動については、国語科だけでなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて学校全体として取り組む。
- 論理的に思考する場、論理的に説明する場を多く設定する。
- 自分の考えの根拠を明確にさせる発問・課題を設定する。
- 文章（連続型テキスト）と図や写真（非連続型テキスト）を組み合わせたもの（雑誌等）を活用する。
- 自分の考えをわかりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現しあったりする学習活動の充実を図る。
- 自分の考えや意見を深めたり、広げたりするため、学級やグループで話し合う場面を多く設定する。



## 4 実社会や実生活とのつながりを意識した学習の充実

### (1) 育てたい力やねらいを明確化にして全体計画を作成する

- ① 育てようとする資質や能力を明確にする。
  - ・ 各学校において定める目標と、育てようとする資質や能力及び態度の2つにより、総合的な学習の時間の教育活動を通して「どんな子どもを育てたいか」を明示する。
- ② 目標の実現のためにふさわしい学習課題を実生活、実社会の中から見つける。(教科横断的、探究的に学習することができ、そこでの学習や気づきが自己の生き方を考えることに結び付いていくような教育的に価値のある諸課題)
  - <例>・ 国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題
  - ・ 子どもの興味・関心に基づく課題

### (2) 主体的・協働的に課題の解決に取り組む

- ① 問題の焦点化
- ② グループ活動への支援

### (3) 学習したことを表現したり、提案したりする活動を位置づける

- ① 自分の言葉で表現する活動
- ② 社会に発信して提案するような活動 など

### (4) 係活動、委員会活動などの日常的な活動の中で、学んだことを意図的に活用する機会を設ける

- ① 算数や理科に関する活動の充実を図る。(例)
  - 統計を取り、割合やグラフを使ってまとめたり、発表したりする活動を取り入れる。
    - ・ 学年ごとの図書の出し出し数について、割合を使ってまとめる。
    - ・ 毎日の天気調べを行い、天気記号を使って表す。(週の晴天率を求める)
- ② 校内放送、朝の会・帰りの会等を活用して、言語活動の充実を図る。(例)
  - ことわざ、四字熟語、故事成語を使ったクイズや1分間スピーチに取り組む。
  - 放送委員会がインタビュー活動を行い、まとめたものを校内放送で紹介する。

## 5 ICTの効果的な活用の工夫

- ICT機器の効果的な活用と同時に、誰にとってもわかりやすい授業を工夫して実践することで、すべての児童・生徒が学びに参加できたり、「わかる」を実感したりする授業づくりを行う。
- 自分の考えや意見を、根拠をもって説明したり、資料を使ってプレゼンテーションをしたりするための道具として、ICT機器を活用して思考力・判断力・表現力等育成をねらいとした授業づくりを行う。

## 主として教育委員会事務局において

### 1 情報発信の充実

- 全国学力・学習状況調査にかかる本市調査結果の分析をホームページで公表する。
- 教職員対象の「学力向上研修会」を実施し、具体的な指導方法等について説明する。
- リーフレット「授業づくり ヒント&ポイント」を発行し、効果のある実践的な取り組みを発信する。
- 「問題解決能力向上のための授業づくりガイドブック2」に基づく主体的・協働的な授業づくりを推進する。
- 今日的教育課題に対応した教職員研修を企画・実施する。

### 2 学力向上にかかわる教育施策の整備

- 学校と連携した学力向上につながる教育施策の整備・改善・展開に努める。
  - ・ 到達度検査の実施 ・ 読書活動の推進 ・ 少人数指導の充実 ・ 四日市版コミュニティースクールの推進
  - ・ 幼・こ・保・小・中が連携した学びの一体化事業の推進 (および、教育実践研究推進校区の指定) 等
- 学校への要請訪問において、学校の課題に応じた具体的な指導・助言を行う。
- 「四日市市学力向上アクションプラン」(平成28年6月)に基づき、確かな学力定着のための授業改革、思考力・判断力・表現力を高める言語活動の充実等に努める。

### 3 三重県教育委員会との連携

- 三重県教育委員会HPのワークシートの活用を促進する。
- みえスタディチェックの自校採点・結果分析等を授業改善に生かすよう働きかける。

## 6 参考資料

- 国立教育政策研究所（各校へ配付済み）
  - ・平成29年度全国学力・学習状況調査 解説資料 平成29年4月
  - ・平成29年度全国学力・学習状況調査 報告書 平成29年8月
  - ・平成29年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例 平成29年9月
  - ・小学校国語科映像指導資料～言語活動の充実を図った「読むこと」の授業づくり～ 平成28年3月
  - ・全国学力・学習状況調査を活用した授業アイデア例BOX 平成26年9月

※平成21年度から平成25年度までの授業アイデア例が入っています。  
平成26年度から27年度のアイデア例は平成28年度同様単品で配付済。
- 文部科学省
  - ・言語活動の充実に関する指導事例集 ～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～  
平成22年12月（小学校）／平成23年5月（中学校）

※各校への配付はありません。下記のHPより参照ください。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/senseioun/1300990.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/senseioun/1300990.htm)
- 三重県教育委員会
  - ・全国学力・学習状況調査結果の課題改善のためのワークシート  
<http://www.mie-c.ed.jp/shochu/worksheet.html>
  - ・全国学力・学習状況調査問題（国立教育研究所ホームページへのリンク）  
[http://www.mie-c.ed.jp/shochu/kokken\\_mondai.html](http://www.mie-c.ed.jp/shochu/kokken_mondai.html)
- 東京書籍WEBライブラリー <http://webworld.tokyo-shoseki.co.jp/>
  - ・問題データベース

授業アイデア例の  
活用の工夫を！

